

設定を始める前に

ファクス機能

スキャン機能

プリント機能

認証、集計機能

DocuCentre-IV



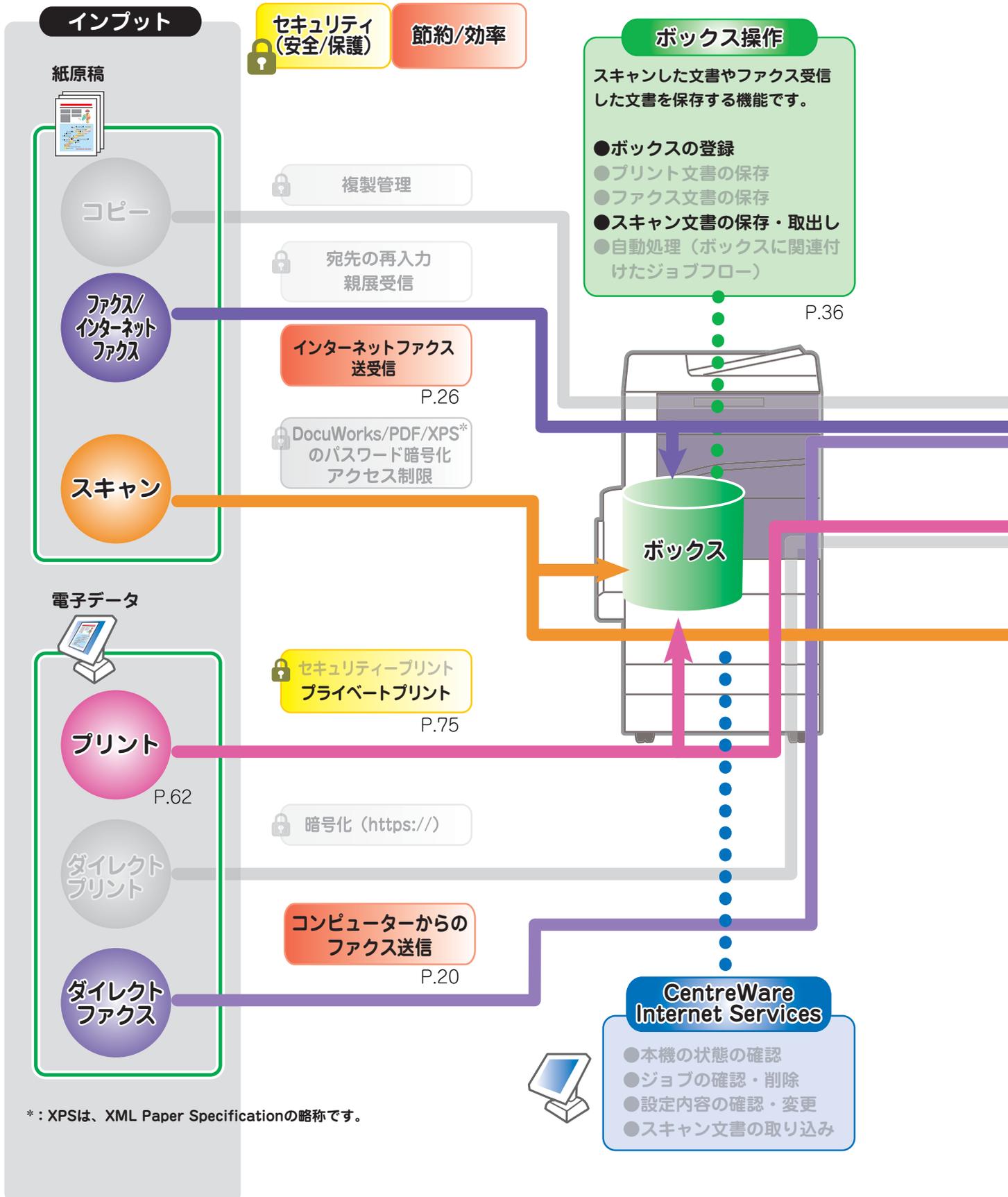
設定がわかる本

設定から基本的な操作までを、
一連の流れで説明している本です。

こんな機能の設定方法を説明します

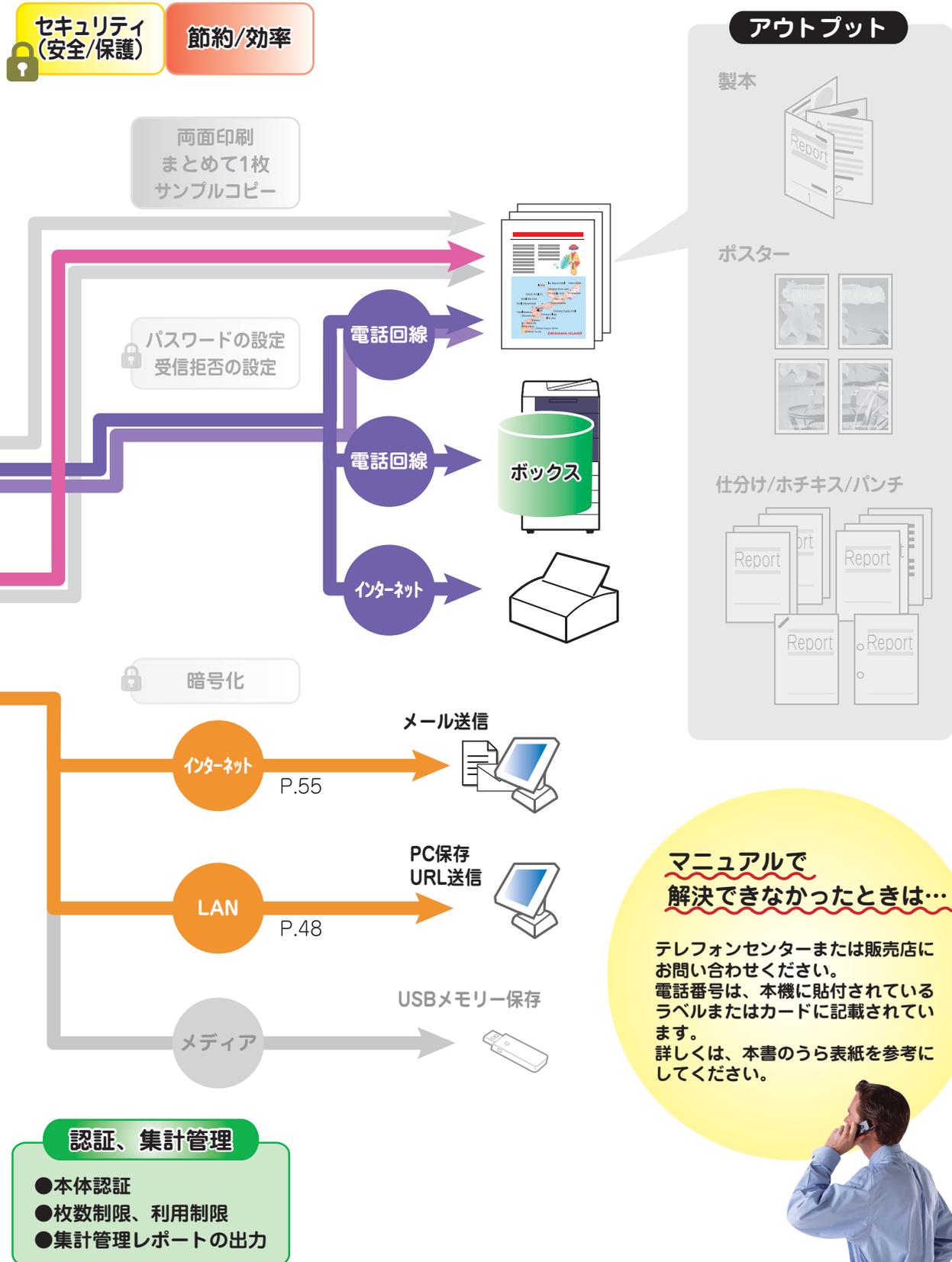
DocuCentre-IV は、オフィス内のドキュメント出力や活用を、安全で効果的に実現するために、さまざまな機能を用意しています。

本書では、問い合わせが多い機能について、DocuCentre-IV とコンピューターで必要となる設定手順を説明します。ページ番号が付いている機能は、本書で説明している機能です。



* : XPSは、XML Paper Specificationの略称です。

機種によっては、オプションが必要な機能があります。オプションについては、弊社の営業担当者にお尋ねください。



もくじ

● こんな機能の設定方法を説明します	2	● マニュアル体系	6
● もくじ	4	● 本書の使い方	8
● はじめに	5	● 本書の表記	9

▶▶▶ 設定を始める前に

設定を始める前に調べておく事柄について説明しています。

設定を始める前に	12
----------------	----

▶▶▶ ファクス機能

ファクス機能の設定について説明しています。

コンピューターからファクス送信する（ダイレクトファクス）	20
インターネットでファクス送受信する（インターネットファクスダイレクト）	26

▶▶▶ スキャン機能

スキャン機能の設定について説明しています。

スキャンした文書をボックスに保存し、コンピューターから取り出す（ボックス保存）	36
スキャンした文書をコンピューターに転送する（PC 保存）	48
スキャンした文書をメールに添付して送信する（メール送信）	55

▶▶▶ プrint機能

Print機能の設定について説明しています。

Windows からPrintする	62
Mac OS X からPrintする	69
プライベートPrintでPrintする（プライベートPrint）	75

▶▶▶ 認証、集計機能

認証、集計機能の設定について説明しています。

ユーザーごとに枚数管理、機能利用制限を設定する （集計管理 / ユーザー登録 / 利用制限の設定）	86
--	----

● さくいん	103
● もっと便利に！複合機活用法	104

はじめに

このたびは DocuCentre-IV（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、問い合わせの多い設定の操作について、設定手順から基本的な操作手順までを一連の流れとして説明しています。本機の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、ご活用ください。

なお、本書は、本機を管理するかたを対象に、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。

富士ゼロックス株式会社

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe PostScript 3、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh は、Apple Inc. の登録商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMA）の商標です。

その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、そのロゴと "コネクティング・シンボル" のマーク、CentreWare は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

マニュアル体系

本機では、次のマニュアルを用意しています。

本体同梱マニュアル



はじめにお読みください（冊子）

安全にお使いいただくための注意事項や、操作中に気をつけていただきたい注意制限事項などについて説明しています。本機の設置後、必ずお読みください。



使い方がわかる本（冊子）

本機での主な機能や、操作方法、トラブルの対処方法、問い合わせの多い項目などについて説明しています。本書だけで、コピー、プリント、ファクス、スキャンの基本的な操作ができます。



設定がわかる本（冊子）＜本書＞

ファクス、スキャン、プリント、認証など、本機やコンピューターで事前に設定が必要な項目などについて説明しています。



マニュアル CD-ROM

（ユーザーズガイド、管理者ガイド、その他）

マニュアル CD-ROM では、『ユーザーズガイド』、『管理者ガイド』を HTML で用意しています。

さらに、「注意・制限事項」、「オプション製品マニュアル」、「オンラインヘルプ」など、本機をご利用いただくために必要な情報が格納されています。

『使い方がわかる本』や『設定がわかる本』でも解決しなかったときや、さらに詳しく調べたいときに利用してください。



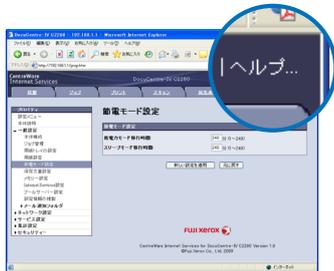
ドライバー CD キットのマニュアル (HTML)

プリンタードライバーのインストール手順、プリンターの環境を設定する方法などについて説明しています。同梱されているドライバー CD キットに入っています。



プリンタードライバーのヘルプ

プリントの操作方法や、機能などについて説明しています。



CentreWare Internet Services のヘルプ

コンピューターのブラウザから本機への各種設定や、スキャン文書を取り込む操作などについて説明しています。

オプション製品マニュアル

本機では、オプション製品を用意しています。オプション製品には、マニュアルが同梱されているものがあります。

オプション製品マニュアルでは、オプション製品の操作方法、ソフトウェアのインストール手順などについて説明しています。

各種ソフトウェアについて

● 本製品に同梱されている CD-ROM

ドライバー CD キットの CD-ROM には、プリンタードライバー、ファクスドライバー、スキャナードライバーなどが入っています。インストール方法については、CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

● 最新ソフトウェアの入手方法

最新のソフトウェアは、富士ゼロックスのホームページから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次の URL にアクセスして、ダウンロードしてください。

<http://download.fujixerox.co.jp/>

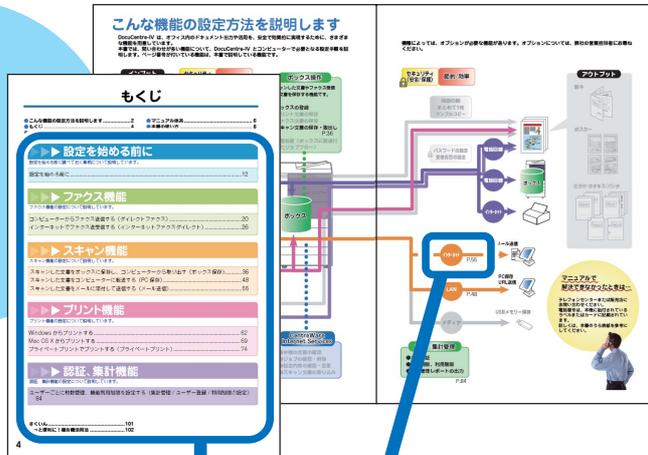
本書の使い方

本書は、問い合わせの多い設定の操作について、設定方法から基本的な操作方法までを一連の流れとして説明しています。

Step 1
やりたいこと
を探す

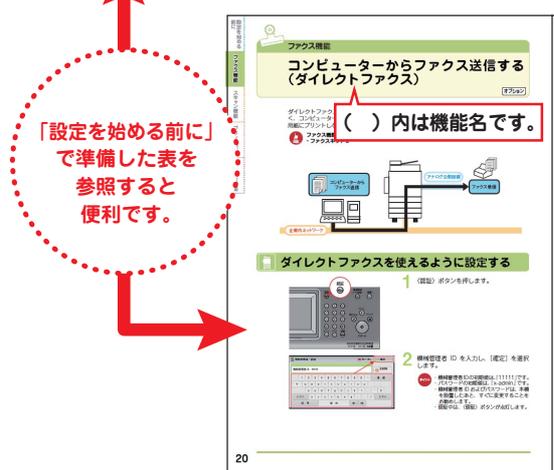
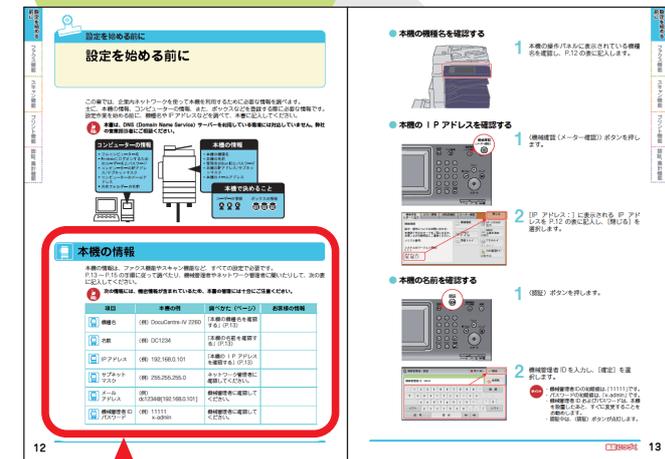
Step 2
「設定を始める前に」
の手順を追いながら、
表を記入する

こんな機能の設定方法を説明します



ページ番号を
参照して
やりたいことが
書かれている
ページへ。

Step 3
やりたいことが
書かれているページ
を見ながら設定する



本書の表記

- 本書に記載している画面や本体のイラストは、各種オプション製品が装着された状態のものです。使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。
- 各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものとは異なる場合があります。
- 本書の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



： コンピューターでの操作を説明しています。



： 本機での操作を説明しています。



： 補足事項を記述しています。



： 注意すべき事項を記述しています。



： お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

- 「 」 ： ・ 本書内にある参照先を表しています。
 ・ CD-ROM、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表しています。
- 『 』 ： 参照するマニュアルを表しています。
- [] ： ・ 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
 ・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
- < > ボタン ： 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
- < > キー ： コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
- > ： ・ 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。
 例：「[仕様設定 / 登録] > [登録 / 変更] > [ボックス登録] を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。
 ・ コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。
 例：「[スタート] > [検索] > [他のコンピューター] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピューター] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。
 ・ 参照先は、次のように表しています。
 例：「『管理者ガイド』の「5 仕様設定」 > 「共通設定」」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」を参照することを表しています。

- 本書では、文書が格納されている場所を「ボックス」または「親展ボックス」と表記しています。
- 本文中では、機械本体の操作パネルに表示されるキーボードで大文字の入力方法や漢字変換の方法は記載されていません。詳しくは、『使い方がわかる本』の「ここだけ読めば使えます」 > 「機械について」をご覧ください。

設定を始める前に

ファクス機能

スキャン機能

プリント機能

認証、集計機能

▶▶▶ 設定を始める前に

設定を始める前に P.12

使用しているコンピューターの画面イメージは、2009年9月現在のものです。
各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものとは異なる場合があります。



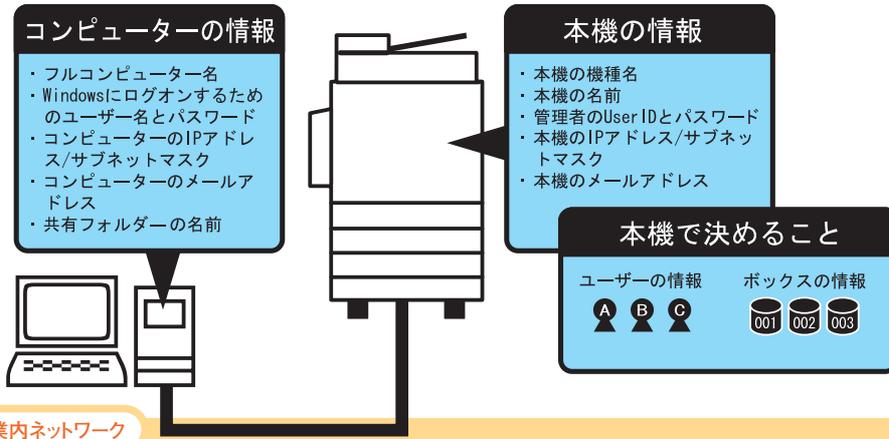
設定を始める前に

設定を始める前に

この章では、企業内ネットワークを使って本機を利用するために必要な情報を調べます。主に、本機の情報、コンピューターの情報、また、ボックスなどを登録する際に必要な情報です。設定作業を始める前に、機種名や IP アドレスなどを調べて、本書に記入してください。



本書は、DNS (Domain Name Service) サーバーを利用している環境には対応していません。弊社の営業担当者にご相談ください。



本機の情報

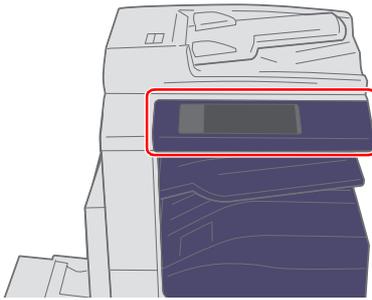
本機の情報には、ファクス機能やスキャン機能など、すべての設定で必要です。P.13～P.15の手順に従って調べたり、機械管理者やネットワーク管理者に確認して、次の表に記入してください。



次の情報には、機密情報が含まれているため、本書の管理には十分にご注意ください。

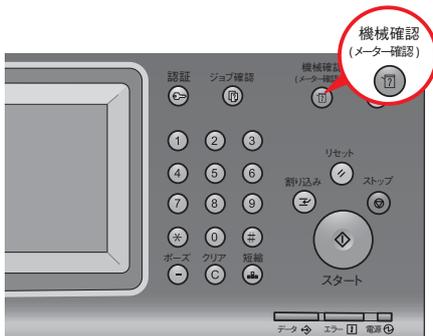
項目	本書の例	調べかた (ページ)	お客様の情報
機種名	(例) DocuCentre-IV 2260	「本機の機種名を確認する」(P.13)	
名前	(例) DC1234	「本機の名前を確認する」(P.13)	
IPアドレス	(例) 192.168.0.101	「本機のIPアドレスを確認する」(P.13)	
サブネットマスク	(例) 255.255.255.0	ネットワーク管理者に確認してください。	
メールアドレス	(例) dc1234@[192.168.0.101]	機械管理者に確認してください。	
機械管理者 ID パスワード	-	機械管理者に確認してください。	

● 本機の機種名を確認する

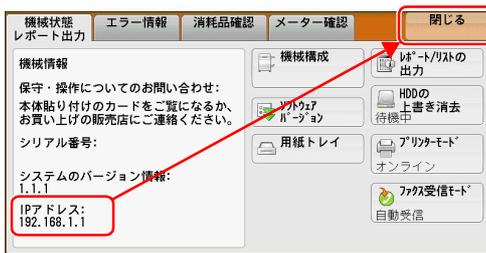


- 1 本機の操作パネルに表示されている機種名を、P.12 の表に記入します。

● 本機の IP アドレスを確認する

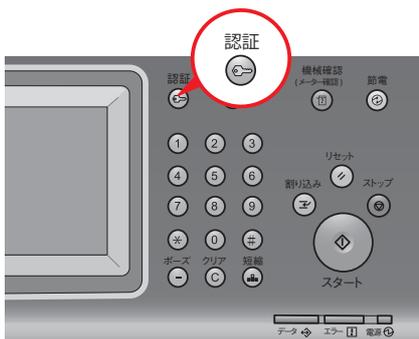


- 1 <機械確認 (メーター確認)> ボタンを押します。



- 2 [IP アドレス:] に表示される IP アドレスを P.12 の表に記入し、[閉じる] を選択します。

● 本機の名前を確認する



- 1 <認証> ボタンを押します。

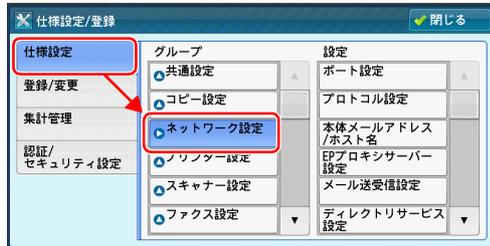


- 2 機械管理者 ID を入力し、[確定] を選択します。

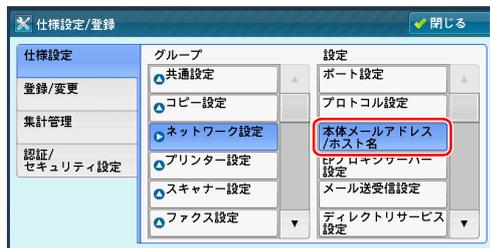
- ポイント**
- ・ 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
 - ・ 認証中は、<認証> ボタンが点灯します。



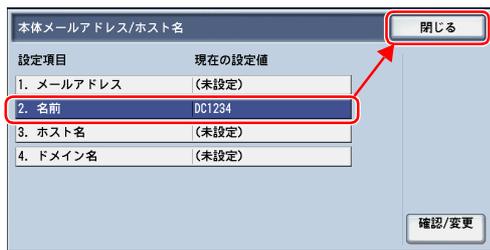
3 [仕様設定 / 登録] を選択します。



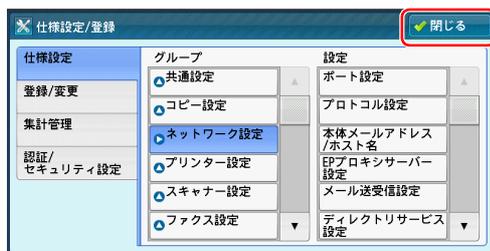
4 [仕様設定] を選択し、[ネットワーク設定] を選択します。



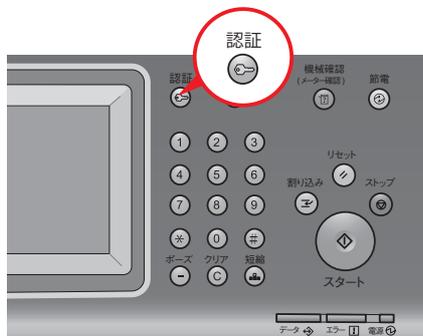
5 [本体メールアドレス / ホスト名] を選択します。



6 [名前] に表示されている設定値を P.12 の表に記入し、[閉じる] を選択します。



7 [閉じる] を選択します。



8 <認証> ボタンを押します。



9 「認証解除」を選択し、機械管理者モードを終了します。

ポイント 認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。

コンピューターの情報

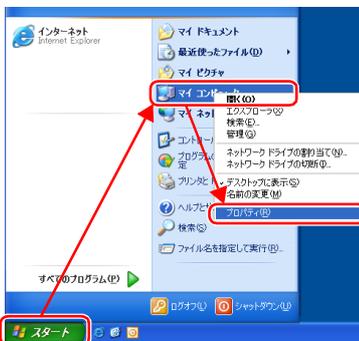
コンピューターの情報は、スキャンしたデータをコンピューターに転送したり、メール送信したりする設定に必要です。

P.15～P.17を参考にして、次の表に記入してください。

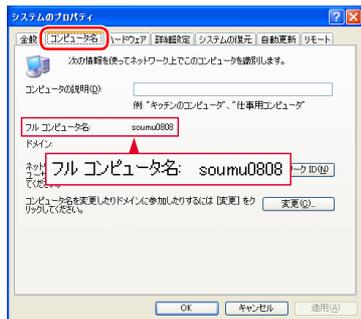
- ・ファクス受信やスキャンしたデータをコンピューターに保存するときは、「コンピューターに共有フォルダーを作る」(P.16)に従って、共有フォルダーを作成してください。
- ・次の情報には、機密情報が含まれているため、本書の管理には十分にご注意ください。

項目	本書の例	調べかた (ページ)	お客様の情報
コンピューター名	(例) soumu0808	「コンピューター名を確認する」(P.15)	
ユーザー名 パスワード	(例) fuji-taro 1234	「Windows にログオンするためのユーザー名とパスワードを記入する」(P.16)	
IP アドレス	(例) 192.168.0.201	ネットワーク管理者に確認してください。	
サブネットマスク	(例) 255.255.255.0	ネットワーク管理者に確認してください。	
メールアドレス	(例) fuji-taro@fuji0.co.jp	ネットワーク管理者に確認してください。	
共有フォルダーの名前	(例) faxtopc scantopc	「コンピューターに共有フォルダーを作る」(P.16)	

● コンピューター名を確認する



1 「スタート」>「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



2 [コンピュータ名] タブをクリックし、[フル コンピュータ名:] に表示されるコンピュータ名を P.15 の表に記入し、[OK] をクリックします。

● Windows にログオンするためのユーザー名とパスワードを記入する



1 Windowsにログオンするためのユーザー名とパスワードを P.15 の表に記入します。

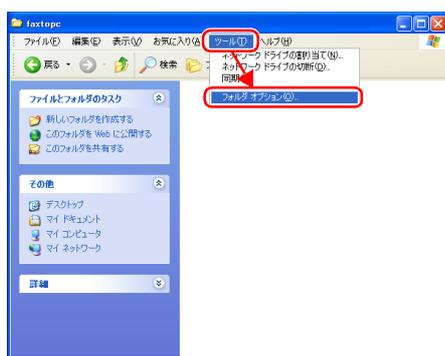
ポイント パスワードを設定しないでログオンしていたり、ユーザー名が漢字やひらがなの場合は、スキャナー側からアクセスできません。管理者に確認してください。

● コンピューターに共有フォルダーを作る

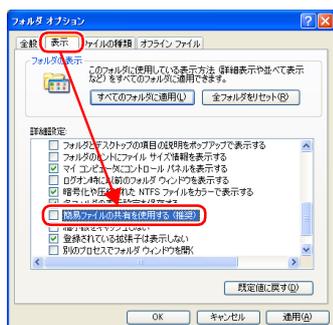


1 コンピューターの任意の場所に、任意の名前のフォルダーを作成し、ダブルクリックします。

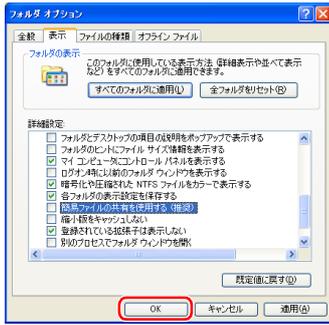
ポイント このフォルダーは、ファクス受信したデータや、スキャンしたデータを格納するために利用します。半角英数字で、「fax001」や「scan001」といった短めの名前を付けることをお勧めします。



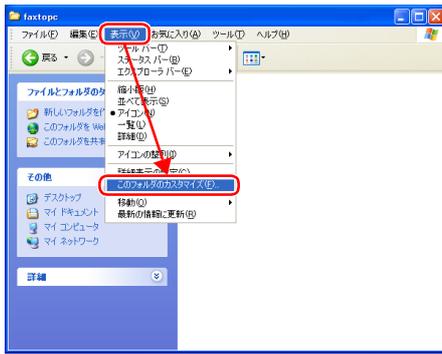
2 [ツール]メニューから[フォルダオプション]を選択します。



3 [表示] タブをクリックし、[簡易ファイルの共有を使用する]のチェックを外します。



4 [OK] をクリックします。

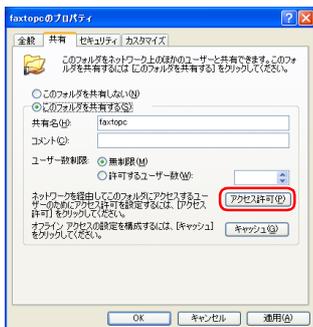


5 [表示] メニューから [このフォルダのカスタマイズ] を選択します。



6 [共有] タブをクリックし、[このフォルダを共有する] をチェックします。

ポイント [共有名] に表示されるフォルダー名が、手順 1 で作成したフォルダー名と同じであることを確認してください。



7 [アクセス許可] をクリックします。

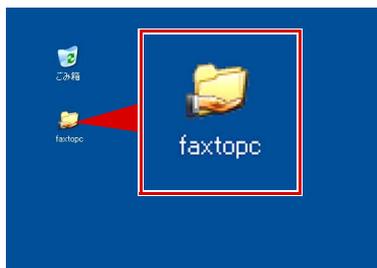


8 [Everyone] をクリックし、[変更] と [読み取り] 項目の [許可] をチェックして、[OK] をクリックします。

ポイント お客様が運用しているセキュリティのルールに従って設定してください。



9 [OK] をクリックします。



10 フォルダーアイコンが、手のついたイメージに変わったことを確認します。

本機を設定するときに必要な情報

本機で、ボックス機能を使用したり、利用ユーザーなどを登録するために必要な情報を設定します。管理者と相談し、次の表に記入してください。

 次の情報には、機密情報が含まれているため、本書の管理には十分にご注意ください。

項目	本書の例	作りかた（ページ）	お客様の情報
 本機に登録するユーザー名	(例) ふじたろう	「ユーザーを登録する」(P.93)	
 ユーザー名に対する User ID とパスワード	(例) fuji-taro 1234	「ユーザーを登録する」(P.93)	
 本機に登録するボックス名	(例) ふじたろう	「ボックスを登録する」(P.36)	
 ボックス番号	(例) 001	「ボックスを登録する」(P.36)	

設定を始める前に

ファクス機能

スキャン機能

プリント機能

認証、集計機能

▶▶▶ ファクス機能

- コンピューターからファクス送信する（ダイレクトファクス） P.20
- インターネットでファクス送受信する（インターネットファクスダイレクト） P.26

使用しているコンピューターの画面イメージは、2009年9月現在のものです。
各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものとは異なる場合があります。



ファクス機能

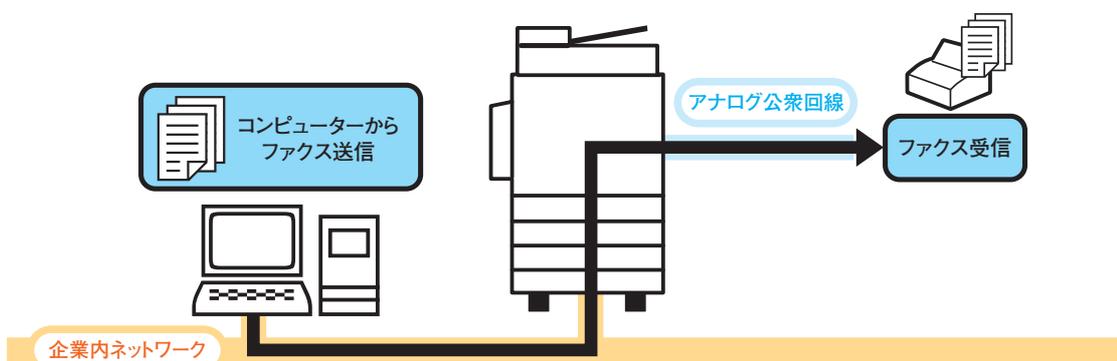
コンピューターからファクス送信する (ダイレクトファクス)

オプション

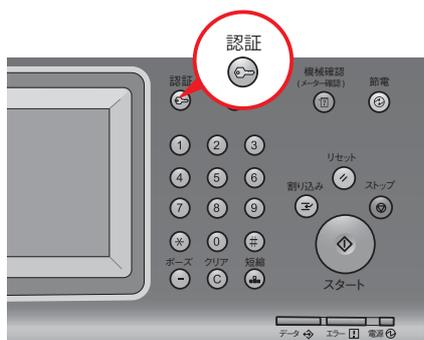
ダイレクトファクスとは、アプリケーションソフトウェアで作成した文書をプリントすることなく、コンピューターから直接、ファクス送信できる機能のことです。
用紙にプリントしないため、資源を節約し、手間を省きます。



ファクス機能は、次のオプションが必要です。
・ファクスキット 2



ダイレクトファクスを使えるように設定する



1 〈認証〉ボタンを押します。



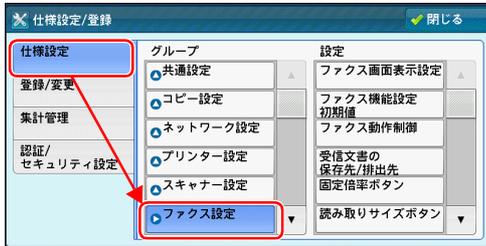
2 機械管理者 ID を入力し、[確定] を選択します。

ポイント

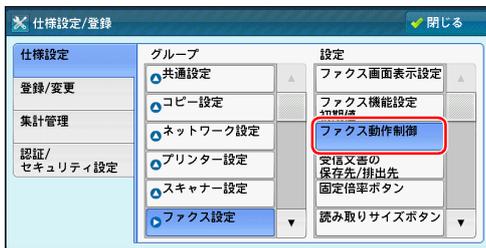
- ・機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。



3 [仕様設定 / 登録] を選択します。



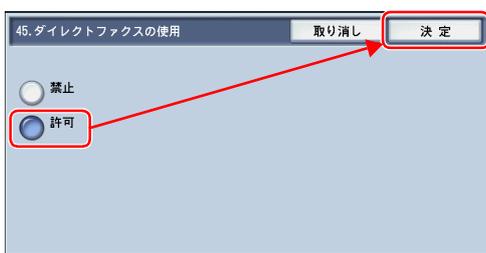
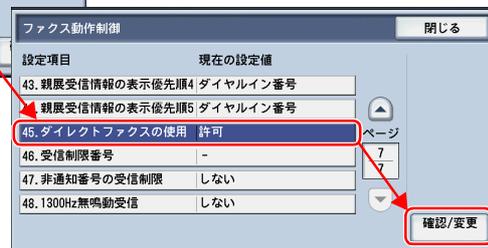
4 [仕様設定] を選択し、[ファクス設定] を選択します。



5 [ファクス動作制御] を選択します。



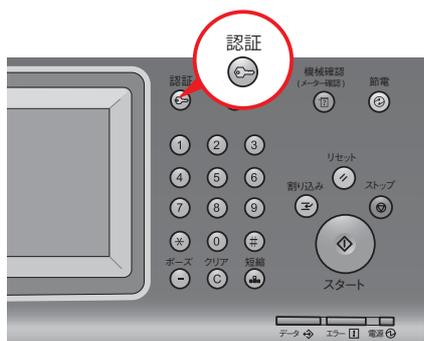
6  を繰り返し押し、[ダイレクトファクスの使用] (Use Direct Fax) を選択し、[確認 / 変更] (Check / Change) を選択します。



7 [許可] を選択し、[決定] を選択します。



8 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し [閉じる] を選択します。



9 〈認証〉ボタンを押します。



10 [認証解除] を選択し、機械管理者モードを終了します。

ポイント 認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。

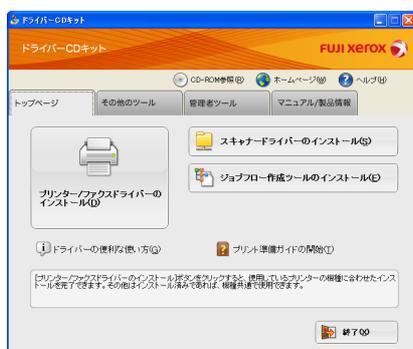


ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする

ファクス送信用の標準ドライバーの入手方法は、次の2つがあります。

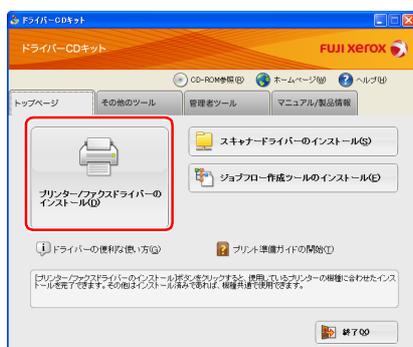
- ・ 本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使う
- ・ 弊社のホームページからダウンロードする

ここでは、コンピューターと同じサブネットに TCP/IP で接続されている環境を例に、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使って、[標準セットアップ] でインストールする方法を説明します。



1 CD-ROM ドライブにドライバー CD キットをセットします。
自動的に左の画面が表示されます。

ポイント 自動的に画面が表示されない場合は、CD-ROM 内のルートディレクトリにある Launcher.exe をダブルクリックしてください。

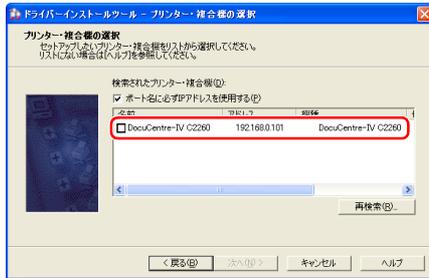


2 [プリンター / ファクスドライバーのインストール] をクリックします。



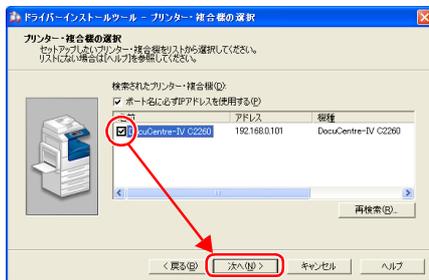
3 [標準セットアップ] ボタンをクリックします。

ポイント 本機が、コンピュータと同じサブネットに TCP/IP で接続されていない場合は、[カスタムセットアップ] ボタンをクリックしてください。

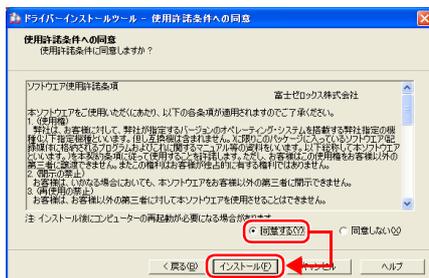


4 ネットワークの同じサブネットで TCP/IP 接続されている機器が、リスト表示されます。[アドレス] に、P.12 の表に記入した本機の IP アドレスが表示されていることを確認します。

ポイント 本機が表示されない場合は、[戻る] をクリックし、[カスタムセットアップ] ボタンをクリックしてください。



5 本機をチェックし、[次へ] をクリックします。



6 使用許諾条件を確認して、[同意する] をチェックし、[インストール] をクリックします。



7 セットアップ完了画面が表示されたら、[追加 / 更新されたプリンタ] に、本機が表示されていることを確認し、[完了] をクリックします。

ポイント ・標準ドライバーは、プリント用とファクス送信用の 2 つが自動的にインストールされます。
・ファクス送信用ドライバーは、「機種名 (FAX)」と表示されます。

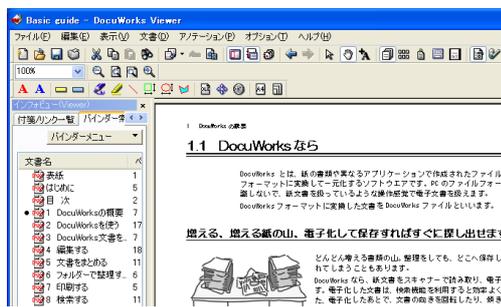


8 [はい] をクリックします。

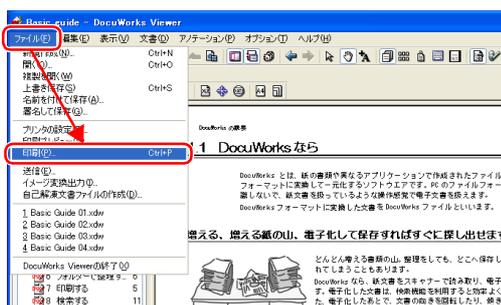


コンピューターからファクス送信する

1 ファクス送信する文書を表示します。

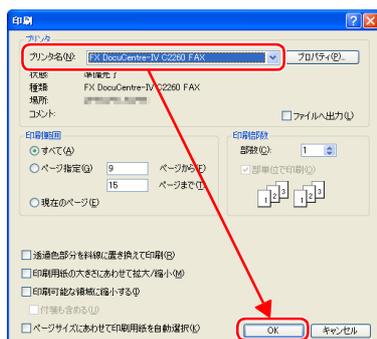


2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。



ポイント アプリケーションソフトウェアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

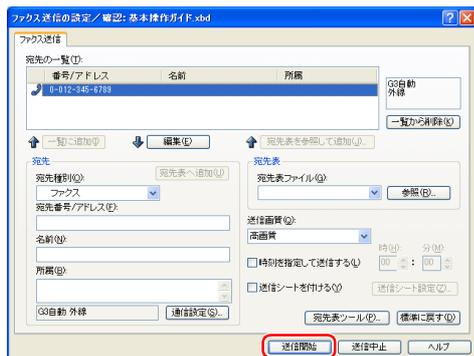
3 [プリンタ名] から「ファクス送信用の標準ドライバをインストールする (P.22)」でインストールした、ファクス送信用の標準ドライバを選択し、[OK] をクリックします。



4 [宛先番号 / アドレス] に送信先のファクス番号を入力し、[一覧に追加] をクリックします。



5 [送信開始] をクリックします。

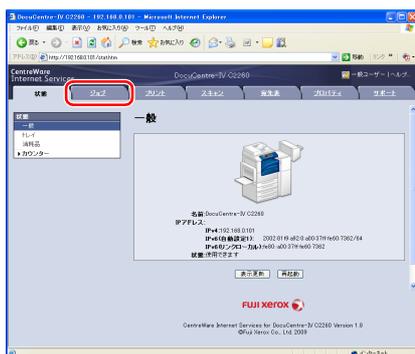


コンピューターでファクス送信できたか確認する

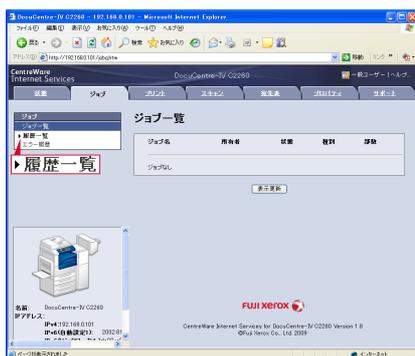


1 Internet Explorer (Web ブラウザー) で、「http:// (本機の IP アドレス)」を入力し、〈Enter〉キーを押します。

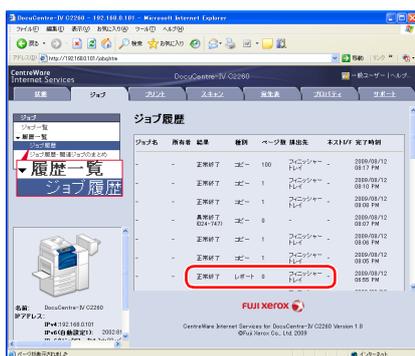
例：http://192.168.0.101
└─本機の IP アドレス



2 [ジョブ] タブをクリックします。



3 [履歴一覧] の左にある [▶] をクリックします。



4 [ジョブ履歴] をクリックし、送信した文書の結果を確認します。

ポイント ジョブは新しいものから順に表示されます。



ファクス機能

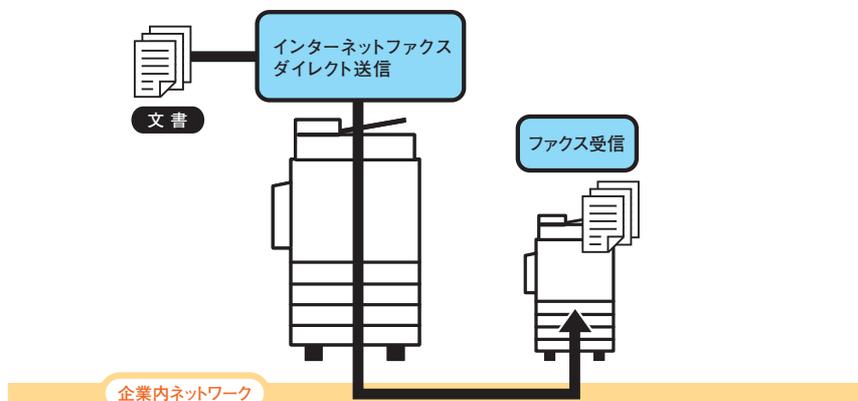
インターネットでファクス送受信する (インターネットファクスダイレクト)

オプション

インターネットファクスダイレクトとは、電話回線を経由するファクス通信とは異なり、企業内ネットワークを利用して、SMTP サーバーを経由せずに送受信する機能です。ファイアウォールを越えない企業内ネットワークを利用した通信のため、情報漏えいの危険を減らすことができます。また、メールサーバーを介さないため、リアルタイムな通信が実現できます。

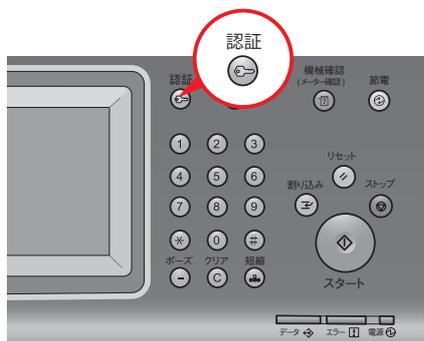


- ・ファクス機能は、次のオプションが必要です。
 - ・ファクスキット 2
 - ・インターネット FAX キット
- ・インターネットファクスに対応した機器同士で利用できます。
 - ・インターネットファクスとインターネットファクスダイレクトは、両方を有効にはできません。切り替えについては、機械管理者に確認してください。



本機を設定する

● インターネットファクスの送信経路を設定する



1 〈認証〉ボタンを押します。



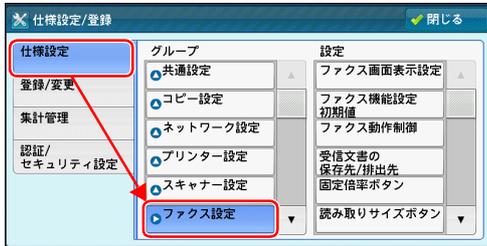
2 機械管理者 ID を入力し、[確定] を選択します。



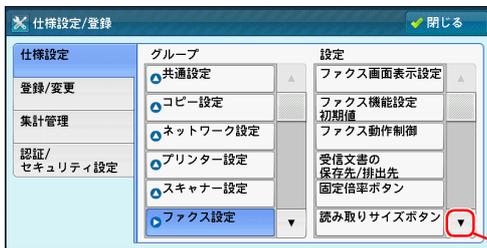
- ・機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。



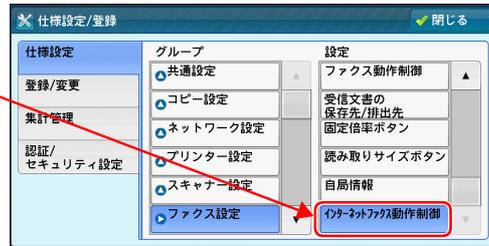
3 [仕様設定 / 登録] を選択します。



4 [仕様設定] を選択し、[ファクス設定] を選択します。



5 [] を押し、[インターネットファクス動作制御] を選択します。



6 [送信経路] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。

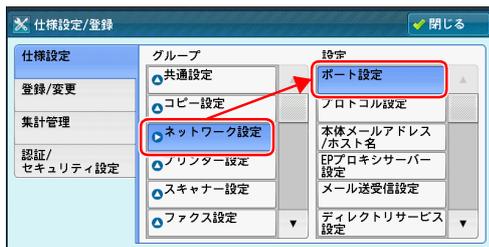


7 [ダイレクト (P2P)] を選択し、[決定] を選択します。



8 [閉じる] を選択します。

● メール受信 / メール送信のポートを起動する



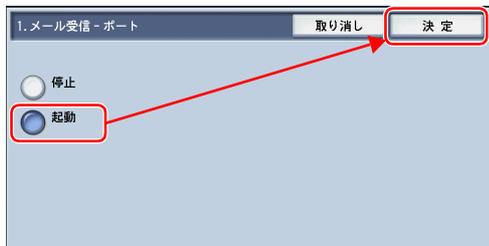
9 [ネットワーク設定] を選択し、[ポート設定] を選択します。



10  を押し、[メール受信] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



11 [確認 / 変更] を選択します。



12 [起動] を選択し、[決定] を選択します。



13 [閉じる] を選択します。



14 [メール送信] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



15 [確認 / 変更] を選択します。



16 [起動] を選択し、[決定] を選択します。

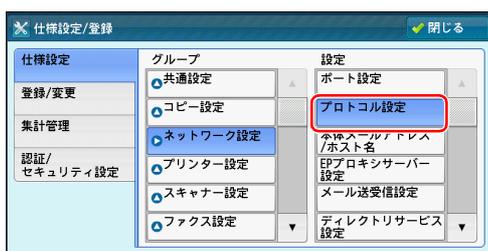


17 [閉じる] を選択します。



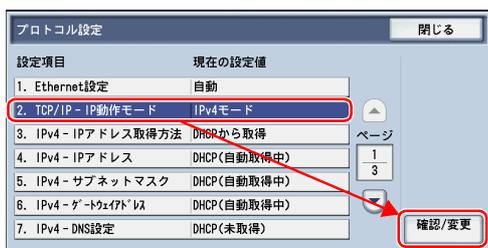
18 [閉じる] を選択します。

● TCP/IP、IP アドレスを設定する



19 [プロトコル設定] を選択します。

ポイント IP アドレスがすでに設定されている場合は、手順 29 に進んでください。



20 [TCP/IP-IP 動作モード] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。

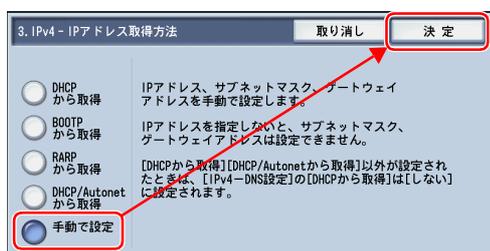


21 [IPv4 モード] を選択し、[決定] を選択します。

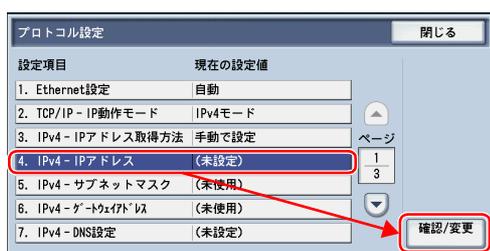
ポイント お使いの企業内ネットワークがIPv6環境を含む場合は、[デュアルスタック] を選択してください。



22 [IPv4-IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



23 [手動で設定] を選択し、[決定] を選択します。



24 [IPv4-IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



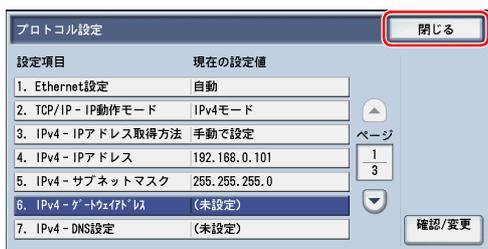
25 P.12 の表に記入した本機の IP アドレスを入力し、[決定] を選択します。



26 [IPv4- サブネットマスク] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



27 P.12 の表に記入したサブネットマスクを入力し、[決定] を選択します。

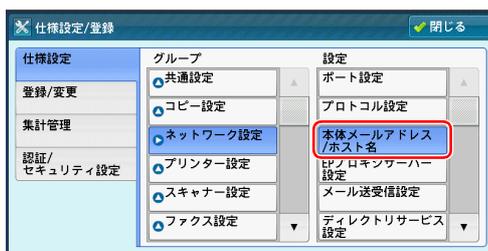


28 [閉じる] を選択します。



ゲートウェイサーバーを利用している場合は、[IPv4- ゲートウェイアドレス] も設定してください。

● インターネットファクスダイレクト受信用のアドレスを設定する



29 [本体メールアドレス / ホスト名] を選択します。



30 [メールアドレス] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



31 受信用のメールアドレスを入力し、[決定] を選択します。

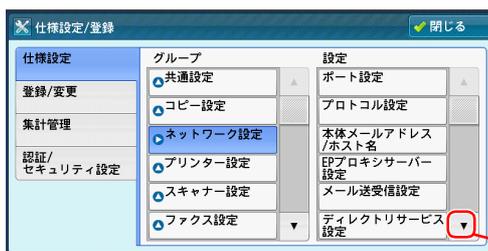


ここでは、本機の IP アドレスを使った指定例を示します。本体メールアドレスの指定方法について、詳しくは、機械管理者に確認してください。

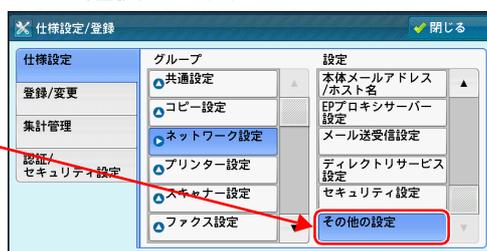


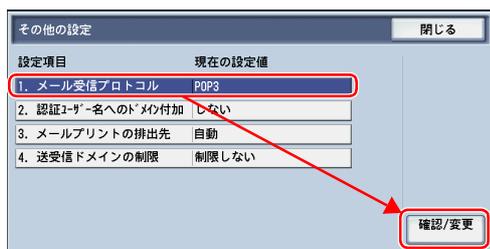
32 [閉じる] を選択します。

● メールの受信プロトコルを設定する



33 ▼ を繰り返し押し、[その他の設定] を選択します。





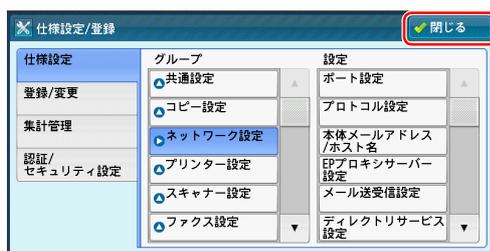
34 [メール受信プロトコル] を選択し、[確認/変更] を選択します。



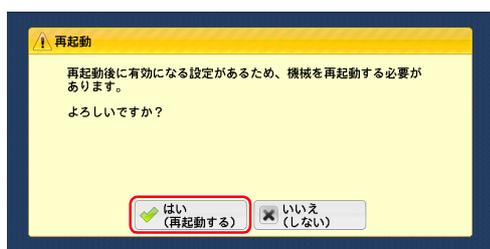
35 [SMTP] を選択し、[決定] を選択します。



36 [閉じる] を選択します。



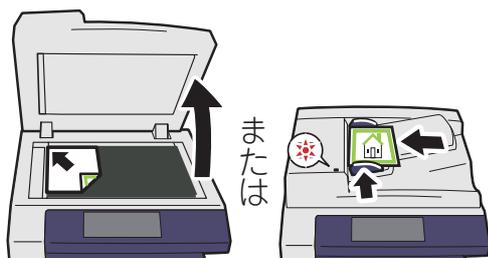
37 [閉じる] を選択します。



38 [はい (再起動する)] を選択します。



インターネットファクスダイレクトでファクス送信する



1 送信したい文書を本機にセットします。



2 [ファクス/インターネットファクス] を選択します。



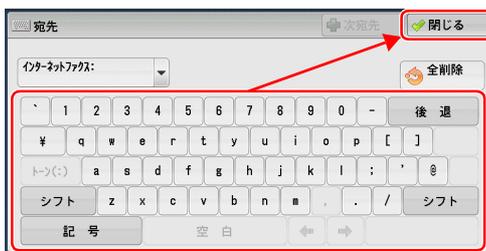
3 [ファクス] を選択します。



4 [インターネットファクス] を選択します。



5 [キーボード] を選択します。

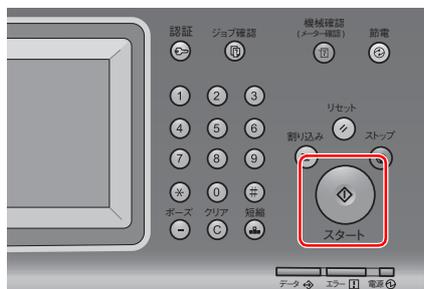
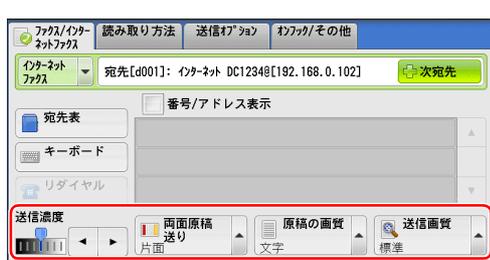


6 ファクス送信先のメールアドレスを入力し、[閉じる] を選択します。

ポイント 送信先の指定方法については、機械管理者に確認してください。



7 メールの件名や本文を指定する場合は、[送信オプション] タブの [インターネットファクス件名]、[インターネットファクスコメント] をそれぞれ選択し、設定します。



8 必要に応じて、[ファクス / インターネットファクス] タブの [送信濃度]、[両面原稿送り]、[原稿の画質]、[送信画質] などの項目を設定します。

ポイント 一度に複数の宛先にファクス送信したいときは、[次宛先] を選択し、相手のメールアドレスを入力してください。

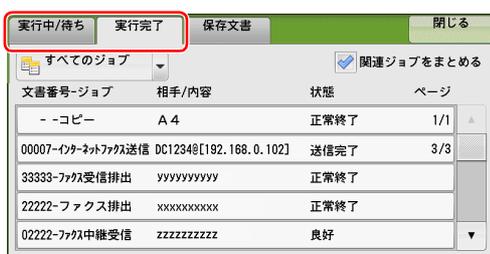
9 〈スタート〉 ボタンを押します。

ポイント 「宛先再入力」の設定をしているときは、再度、宛先を入力してください。

ファクス送信できたか確認する



1 〈ジョブ確認〉 ボタンを押します。



2 [実行中/待ち] タブ、または [実行完了] タブを選択し、送信した文書の [状態] を確認します。

ポイント ファクス送信中は、画面に [ファクス送信中] 画面が表示されることがあります。送信完了まで、お待ちください。

設定を始める前に

ファクス機能

スキャン機能

プリント機能

認証、集計機能

▶▶▶ スキャン機能

スキャンした文書をボックスに保存し、コンピューターから取り出す（ボックス保存） P.36

スキャンした文書をコンピューターに転送する（PC 保存） P.48

スキャンした文書をメールに添付して送信する（メール送信） P.55

使用しているコンピューターの画面イメージは、2009年9月現在のものです。

各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものとは異なる場合があります。

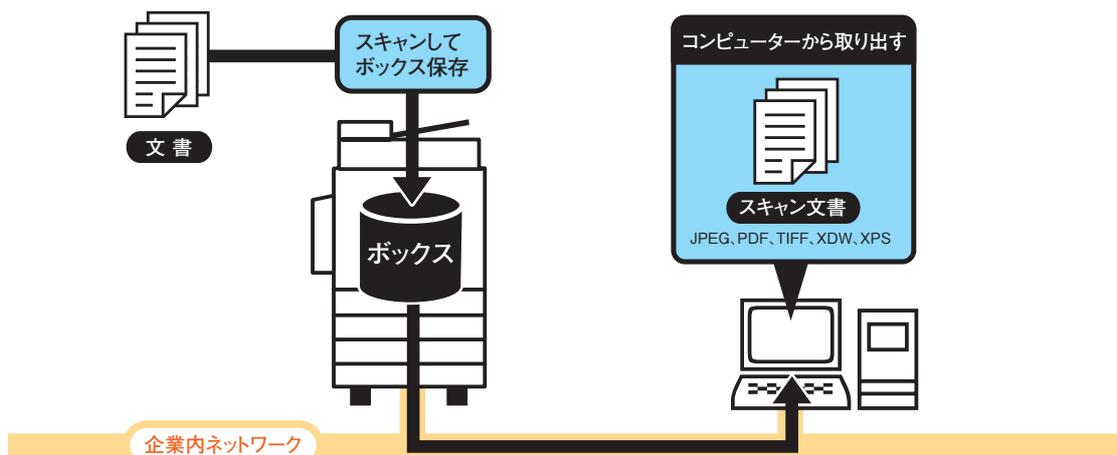


スキャン機能

スキャンした文書をボックスに保存し、コンピューターから取り出す（ボックス保存）

オプション

スキャン機能で読み込んだ紙文書を、本機のボックスに保存しておき、コンピューターから取り出せます。



ボックスを登録する



1 [登録 / 変更] を選択します。

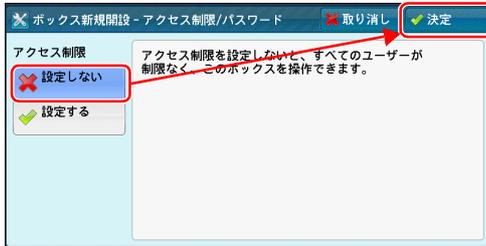
ポイント 本機が機械管理者で認証されているときは、[仕様設定 / 登録] を選択してください。



2 [ボックス登録] を選択します。

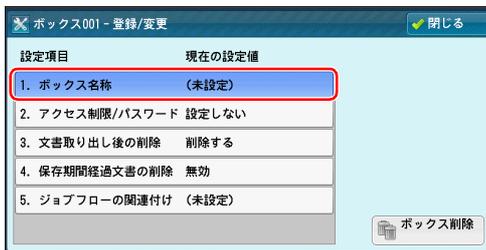


3 任意の [(未登録)] を選択します。



4 [設定しない] を選択し、[決定] を選択します。

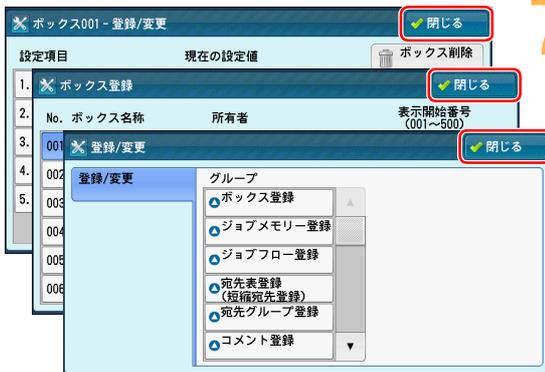
ポイント アクセス制限を設定する場合は、パスワードと [制限する操作] を設定します。



5 [ボックス名称] を選択します。



6 P.18 の表に記入した登録するボックス名を入力し、[決定] を選択します。



7 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し [閉じる] を選択します。



必要なアプリケーションソフトウェアをインストールする

スキャンした文書を取り出すには、次のソフトウェアが必要です。

- TWIN アプリケーションソフトウェアから取り込むには
 - ・ スキャナードライバー（ネットワークスキャナユーティリティ 3）
または
 - ・ TWIN 対応のアプリケーションソフトウェア
- TIFF ファイルや JPEG ファイルで取り出すには
 - ・ 親展ボックスビューワー 3（ネットワークスキャナユーティリティ 3）
または
 - ・ CentreWare Internet Services

本書では、スキャナードライバー（ネットワークスキャナユーティリティ 3）と親展ボックスビューワー 3 を使って、スキャンした文書を TIFF ファイル形式で取り出す方法を説明します。



1 [スタート] > [プログラムのアクセシビリティ] を選択します。



2 [プログラムの変更と削除] をクリックし、必要なアプリケーションソフトウェアがインストールされているかを確認します。

- ポイント** 本書では、次のアプリケーションソフトウェアがインストールされているか確認します。
- ・ 「Fuji Xerox ネットワークスキャナユーティリティ 3」
 - ・ 「TIFF Viewer」



3 画面右上の X をクリックします。

- 「ネットワークスキャナユーティリティ 3」がない場合
「ネットワークスキャナユーティリティ 3 をダウンロードしてインストールする (P.39)」に進みます。

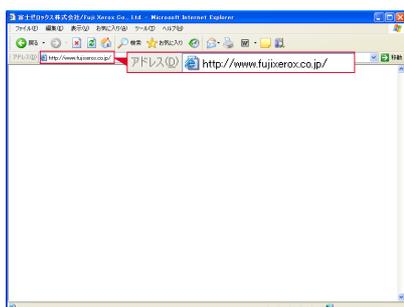
- 「TIFF Viewer」がない場合
「TIFF Viewer をダウンロードしてインストールする (P.42)」に進みます。

- ポイント**
- ・ TIFF Viewer は、TIFF6.0 準拠の TIFF ファイル、およびインターネットファクス仕様準拠の TIFF-FX ファイルの画像を、表示およびプリントするためのソフトウェアです。
 - ・ 「ネットワークスキャナユーティリティ 3」と「TIFF Viewer」は、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM からインストールできます。

● ネットワークスキャナユーティリティ 3 をダウンロードしてインストールする



1 コンピューターの任意の場所に、ダウンロード用のフォルダーを作成し、任意の名前を付けます。



2 Internet Explorer (Web ブラウザー) の [アドレス] に次の URL (ホームページアドレス) を入力し、〈Enter〉キーを押します。

<http://www.fujixerox.co.jp/>



3 [ダウンロード] をクリックします。

ポイント ホームページの構成やデザインは、予告なく変更されることがあります。



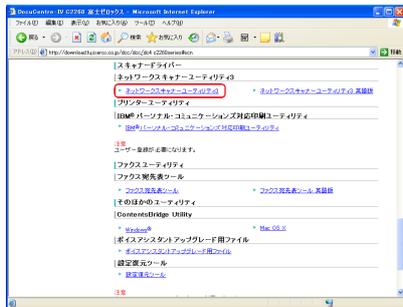
4 [カラー複合機] をクリックします。



5 P.12 の表に記入した本機の機種名をクリックします。



6 [スキャナードライバー] をクリックします。



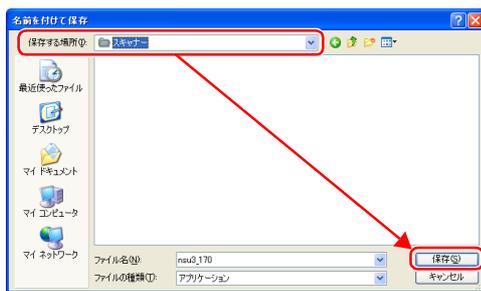
7 [ネットワークスキャナーユーティリティ 3] をクリックします。



8 [使用許諾条件に同意しダウンロード] をクリックします。



9 [ファイルを保存] をクリックします。



10 ファイルの保存先を、P.39 の手順 1 で作成したフォルダーに指定し、[保存] をクリックします。



11 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



12 使用許諾条件を確認し、[はい] をクリックします。



13 [解凍先フォルダ] が、P.39 の手順 1 で作成したフォルダ名になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



14 [Setup] をダブルクリックします。



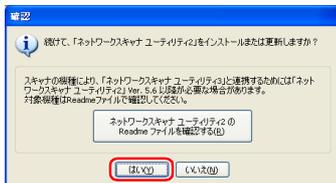
15 画面の指示に従って [次へ] をクリックし、最後に [インストール] をクリックします。



16 [完了] をクリックします。

ポイント 続けてネットワークスキャナユーティリティ 2 をインストールできます。ネットワークスキャナユーティリティ 2 の対象製品をご使用になり、バージョン 5.6 以降がインストールされていない場合は、次の手順に進んでインストールしてください。

● ネットワークスキャナユーティリティ 2 をインストールする



17 [はい] をクリックします。

ポイント ネットワークスキャナユーティリティ 2 をインストールしない場合は、[いいえ] をクリックして、インストール作業を完了してください。



18 画面の指示に従って [次へ] をクリックします。

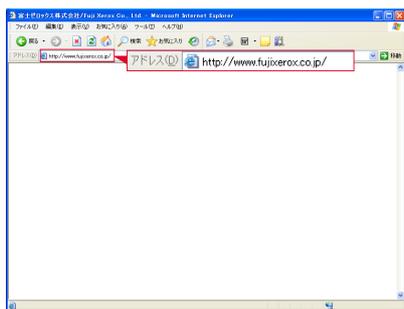


19 [完了] をクリックします。

● TIFF Viewer をダウンロードしてインストールする



1 コンピューターの任意の場所に、ダウンロード用のフォルダーを作成し、任意の名前を付けます。



2 Internet Explorer (Web ブラウザー) の [アドレス] に次の URL (ホームページアドレス) を入力し、〈Enter〉キーを押します。

<http://www.fujixerox.co.jp/>



3 [ダウンロード] をクリックします。

ポイント ホームページの構成やデザインは、予告なく変更されることがあります。



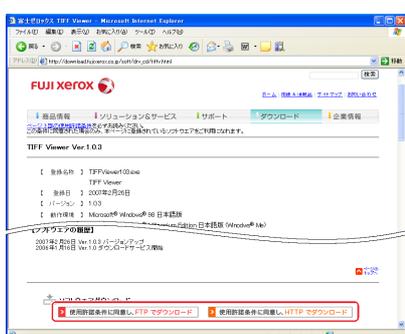
4 [商品分野から探す] の [ソフトウェア] をクリックします。



5 [その他] の [ドライバー CD キット] をクリックします。



6 [TIFF Viewer] をクリックします。

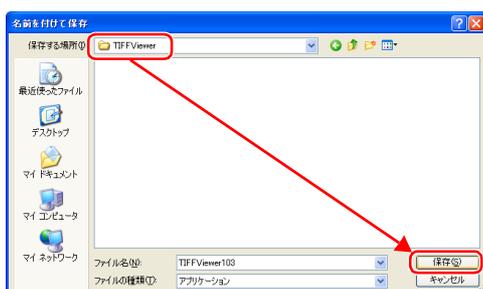


7 画面をスクロールし、ダウンロード方法を、[FTPでダウンロード]または[HTTPでダウンロード] をクリックします。

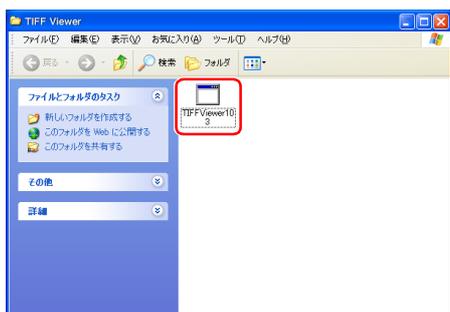
ポイント ダウンロード方式は、[FTPでダウンロード]をお勧めします。FTPでうまくダウンロードできない場合は、[HTTPでダウンロード]をクリックしてください。



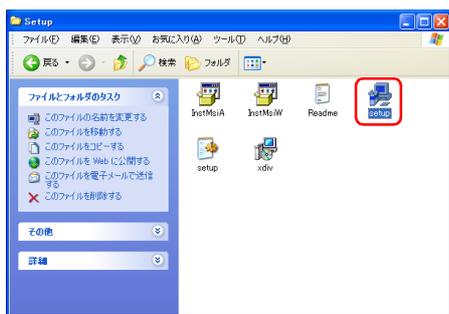
8 [ファイルを保存] をクリックします。



9 ファイルの保存先を、P.42 の手順 1 で作成したフォルダーに指定し、[保存] をクリックします。



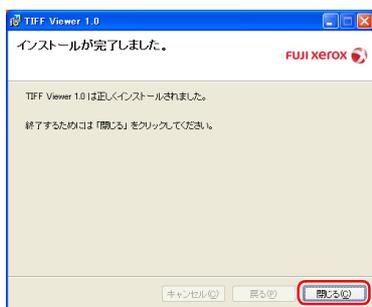
10 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



11 [Setup] フォルダを開き、[setup] をダブルクリックします。

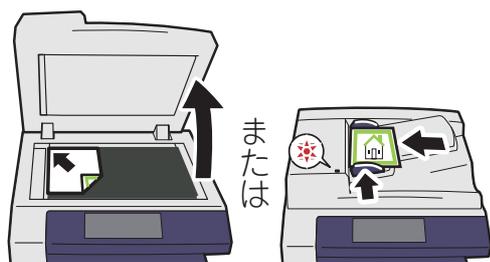


12 画面の指示に従って、[次へ] をクリックします。



13 [閉じる] をクリックします。

文書をスキャンして、ボックスに保存する



1 スキャンする文書をセットします。



2 [スキャナー (ボックス保存)] を選択します。



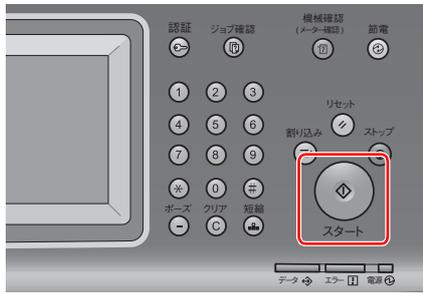
3 [スキャナー ボックス保存] タブを選択し、「ボックスを登録する (P.36)」で登録したボックスを選択します。

ポイント ボックスにパスワードを設定した場合は、パスワードを入力し、[確定]を選択します。



4 必要に応じて、[カラーモード]、[両面原稿送り]、[原稿の画質]などの項目を設定します。

ポイント 文書に合わせて、カラー / モノクロや、片面 / 両面などを設定します。



5 <スタート> ボタンを押します。

スキャンした文書が保存されたか確認する



1 [スキャナー (ボックス保存)] を選択します。

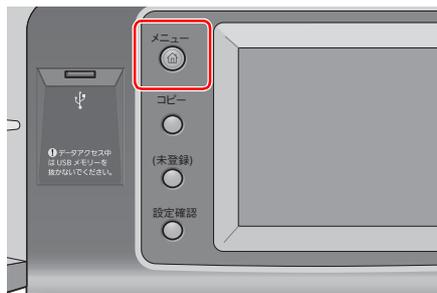


2 「文書をスキャンして、ボックスに保存する (P.44)」の手順 3 で選択したボックスを選択し、[文書確認/削除]を選択します。

ポイント ボックスにパスワードを設定した場合は、パスワードを入力し、[確定]を選択します。



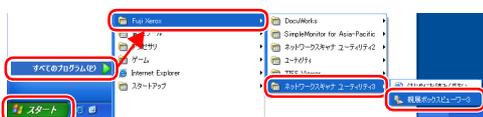
3 スキャンした文書が保存されていることを確認します。



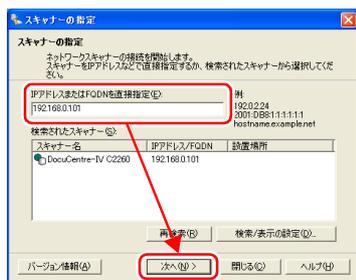
4 <メニュー> ボタンを押して、終了します。

スキャンした文書をコンピューターに取り込む

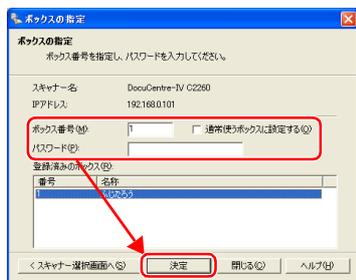
スキャンしてボックスに保存した文書を、コンピューターに取り込むには、いくつかの方法があります。本書では、親展ボックスビューワー 3 を使って取り込む方法を説明します。



1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Fuji Xerox] > [ネットワークスキャナユーティリティ 3] > [親展ボックスビューワー 3] を選択します。

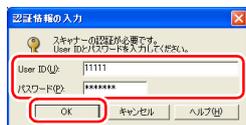


2 [IP アドレスまたは FQDN を直接指定] に、P.12 の表に記入した IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



3 [ボックス番号] に、「文書をスキャンして、ボックスに保存する (P.44)」の手順 3 で選択したボックス番号を入力し、[決定] をクリックします。

ポイント ボックスにパスワードを設定した場合は、[パスワード] にパスワードを入力します。



4 本機に認証モードが設定されている場合は、認証情報の入力画面が表示されます。「ユーザーを登録する (P.93)」で登録した User ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



5 取り込みたい文書を選択し、[取り込み] をクリックします。



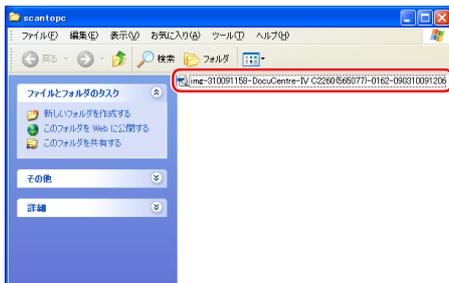
6 コンピューターの保存先を選択し、[OK]をクリックします。



7 [ファイル] メニューから [終了] を選択します。



取り込んだスキャン文書をコンピューターで確認する



1 スキャン文書を保存したフォルダーを開き、文書をダブルクリックします。

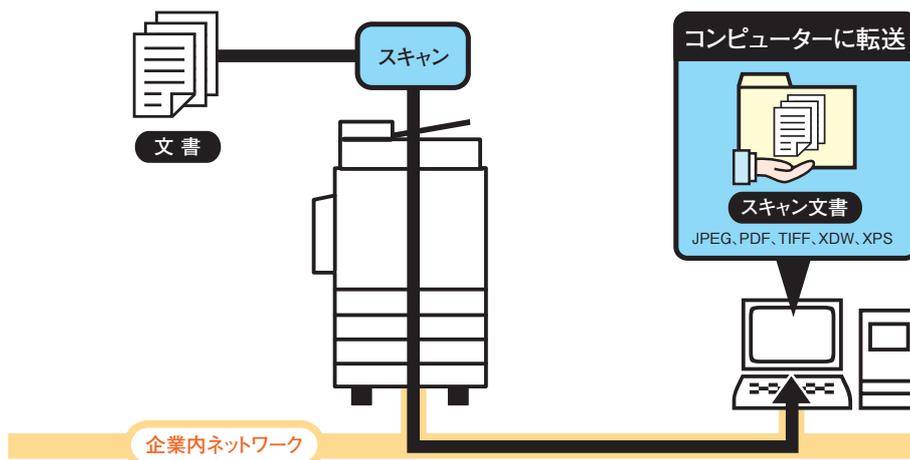


スキャン機能

スキャンした文書をコンピューターに転送する（PC 保存）

オプション

スキャン機能で読み込んだ文書を PDF や DocuWorks 文書などに変換し、FTP や SMB のプロトコルを使ってネットワーク上のコンピューターに転送できます。



この機能を利用するには、次の環境が必要です。

● SMB で使用する場合

共有フォルダー機能が利用できる次の OS のコンピューターが必要です。Mac OS X の場合は、共有できるユーザーアカウントが Mac OS X 上に必要です。

- ・ Microsoft Windows 2000
- ・ Microsoft Windows Server 2003
- ・ Microsoft Windows Server 2008
- ・ Microsoft Windows XP
- ・ Microsoft Windows Vista
- ・ Microsoft Windows 7
- ・ Mac OS X 10.2.X / 10.3.X / 10.4.X / 10.5 / 10.6

● FTP で使用する場合

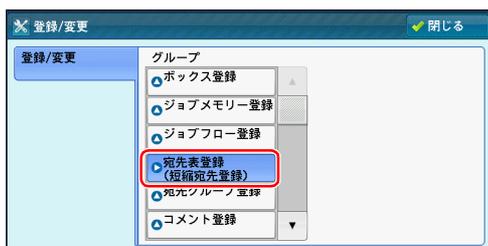
次の FTP サーバーと FTP サーバーへのアカウント（ログイン名とパスワード）の登録が必要です。

- ・ Microsoft Windows Server 2003、Microsoft Windows Server 2008、Microsoft Windows Server 2008 R2、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7 の場合
 - Microsoft Internet Information Server 6.0 の FTP サービス
- ・ Microsoft Windows 2000 Server、Microsoft Windows 2000 Professional、Microsoft Windows XP の場合
 - Microsoft Internet Information Server 3.0 以降のサービス
- ・ Mac OS X の場合
 - Mac OS X 10.2.X / 10.3.8 / 10.3.9 / 10.4.2 / 10.4.4 / 10.4.8 / 10.4.9 / 10.4.10 / 10.4.11 / 10.5 / 10.6 の FTP サービス
- ・ Novell NetWare の場合
 - NetWare5.11J/5.12J の FTP サービス

コンピューターの保存先を、本機の宛先表に登録する



1 [登録 / 変更] を選択します。



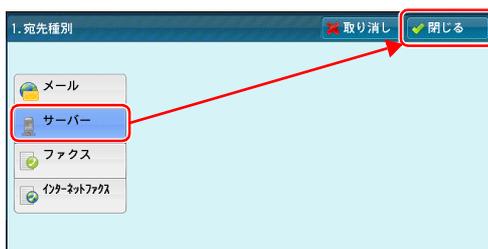
2 [宛先表登録 (短縮宛先登録)] を選択します。



3 任意の [(未登録)] を選択します。



4 [宛先種別] を選択します。



5 [サーバー] を選択し、[閉じる] を選択します。

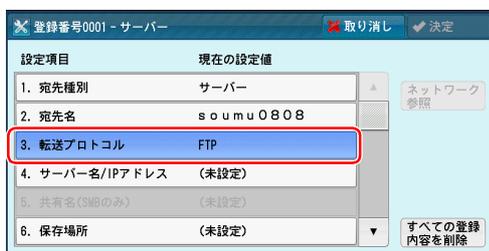


6 [宛先名] を選択します。

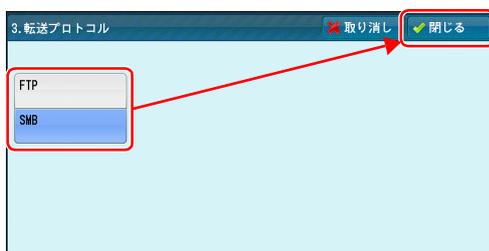


7 P.15 の表に記入したコンピューター名を入力し、[決定] を選択します。

ポイント 入力した名前は、スキャンした文書の保存先を選択する画面 (P.52 の手順 4) で、「宛先名」として表示されます。

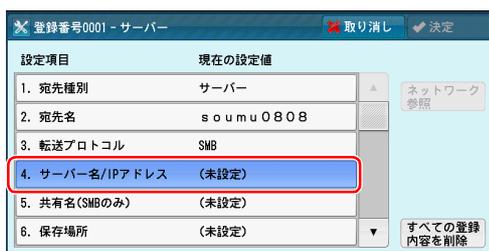


8 [転送プロトコル] を選択します。



9 [SMB] または [FTP] を選択し、[閉じる] を選択します。

ポイント 転送プロトコルを [SMB] にするか [FTP] にするかについては、ネットワーク管理者に確認してください。



10 [サーバー名 /IP アドレス] を選択します。



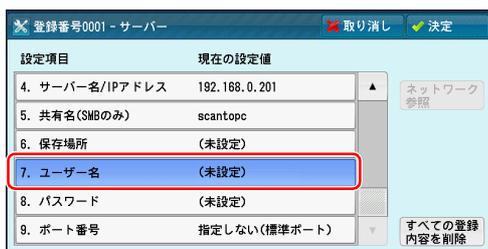
11 P.15 の表に記入した IP アドレスを入力し、[決定] を選択します。



12 手順 9 で [SMB] を選択した場合は、[共有名 (SMB のみ)] を選択します。



13 P.15 の表に記入した共有フォルダーの名前を入力し、[決定] を選択します。



14 を押し、[ユーザー名] を選択します。



15 P.15 の表に記入したユーザー名を入力し、[決定] を選択します。



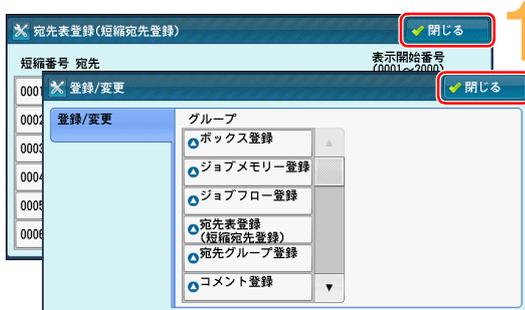
16 [パスワード] を選択します。



17 P.15 の表に記入したパスワードを入力し、[決定] を選択します。

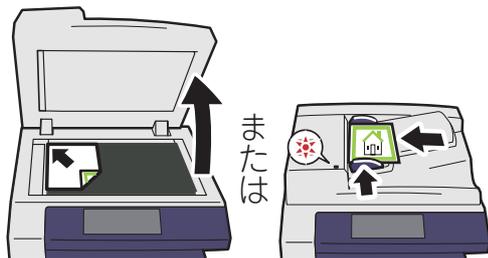


18 [決定] を選択します。



19 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し [閉じる] を選択します。

文書をスキャンして、コンピューターに保存する



1 スキャンする文書をセットします。



2 [スキャナー (PC 保存)] を選択します。



3 [宛先表] を選択します。



4 「コンピューターの保存先を、本機の宛先表に登録する (P.49)」で作成した宛先を選択し、[設定→] を選択します。

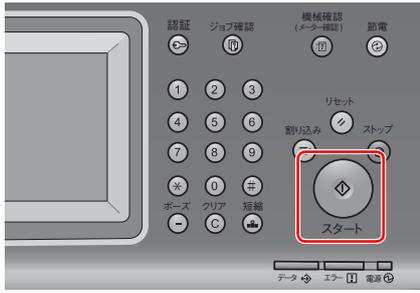


5 [閉じる] を選択します。



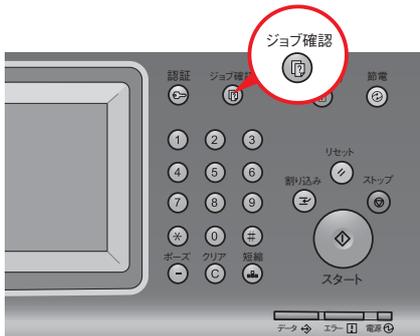
6 必要に応じて、[カラーモード]、[両面原稿送り]、[原稿の画質]、[出力ファイル形式] などの項目を設定します。

ポイント 文書に合わせて、カラー / モノクロや、片面 / 両面などを設定します。



7 〈スタート〉ボタンを押します。

スキャンした文書がコンピューターに送られたか確認する



1 〈ジョブ確認〉ボタンを押します。

実行中/待ち	実行完了	保存文書	閉じる
すべてのジョブ <input checked="" type="checkbox"/> 関連ジョブをまとめる			
文書番号-ジョブ	相手/内容	状態	ページ
--スキャン	親展ボックス0001	正常終了	90 ▲
--コピー	A 4	正常終了	1/1
--SMB転送	¥192,168.0.2014Scant	正常終了	100%
-	MB_PRT		
--スキャン	親展ボックス0020	正常終了	28 ▼

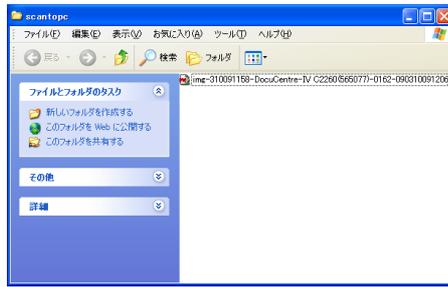
2 [実行中/待ち] タブ、または [実行完了] タブを選択し、コンピューターに転送した文書の [状態] を確認します。

実行中/待ち	実行完了	保存文書	閉じる
すべてのジョブ <input checked="" type="checkbox"/> 関連ジョブをまとめる			
文書番号-ジョブ	相手/内容	状態	ページ
--スキャン	親展ボックス0001	正常終了	90 ▲
--コピー	A 4	正常終了	1/1
--SMB転送	¥192,168.0.2014Scant	正常終了	100%
-	MB_PRT		
--スキャン	親展ボックス0020	正常終了	28 ▼

3 [閉じる] を選択します。



保存した文書をコンピューターで確認する



- 1 「コンピューターに共有フォルダを作る (P.16)」で作成した共有フォルダを開き、文書をダブルクリックします。

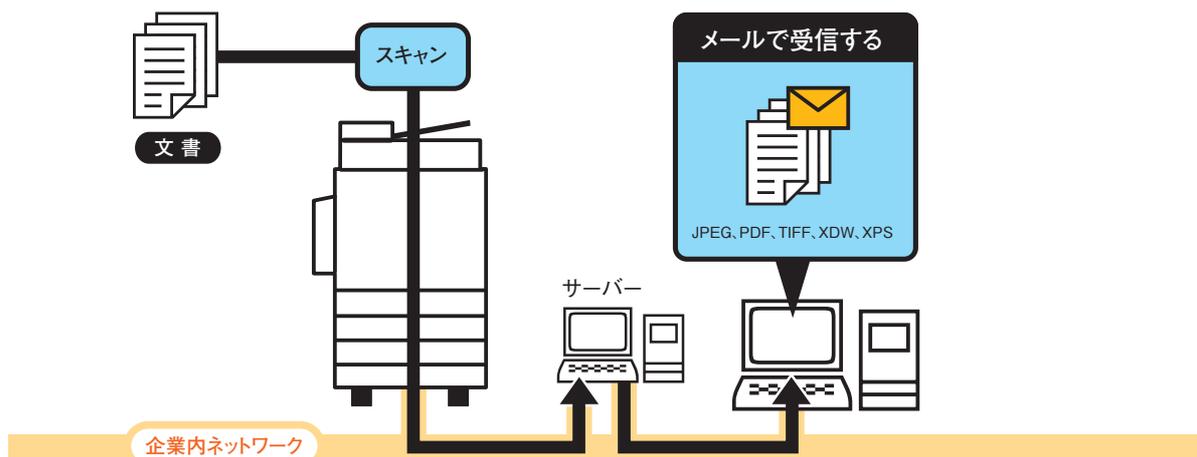


スキャン機能

スキャンした文書をメールに添付して送信する（メール送信）

オプション

スキャンした文書を PDF や DocuWorks 文書などに変換して、メールに添付して送信できます。



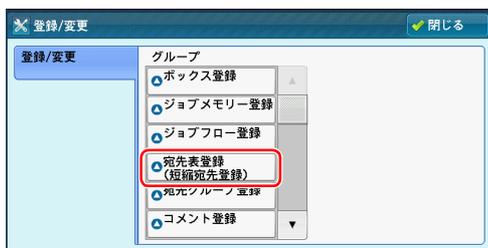
送信先のメールアドレスを指定する方法には、本機のパネルで直接メールアドレスを入力する方法と、事前に登録してある宛先表から選択する方法があります。よく使うメールアドレスは、宛先表に登録しておくとう便利です。



本機の宛先表にメールアドレスを登録する



1 [登録 / 変更] を選択します。



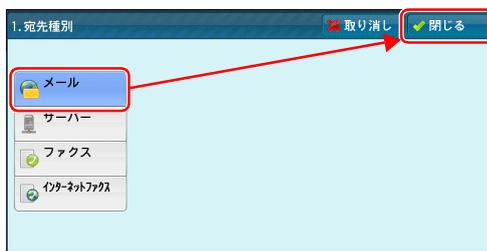
2 [宛先表登録 (短縮宛先登録)] を選択します。



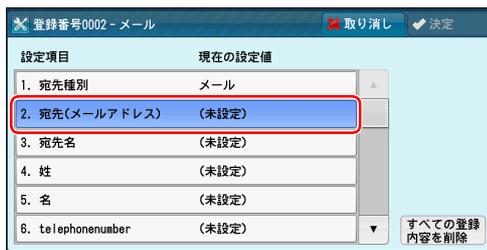
3 任意の [(未登録)] を選択します。



4 [宛先種別] を選択します。



5 [メール] を選択し、[閉じる] を選択します。



6 [宛先 (メールアドレス)] を選択します。



7 P.15 の表に記入したメールアドレスを入力し、[決定] を選択します。



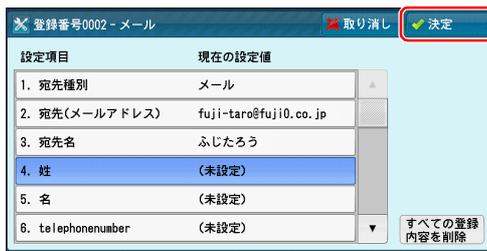
8 [宛先名] を選択します。



9 送信相手の名前を入力し、[決定] を選択します。

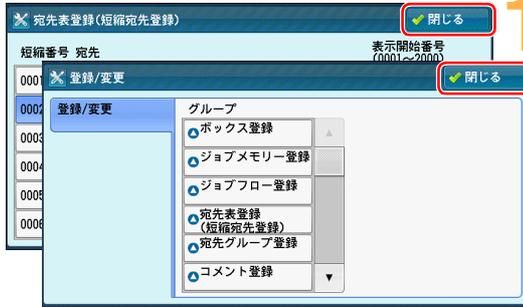
ポイント

ここで入力した名前は、スキャン文書の送信先を選択する画面 (P.58 の手順 5) で、[宛先名/メールアドレス]に表示されます。



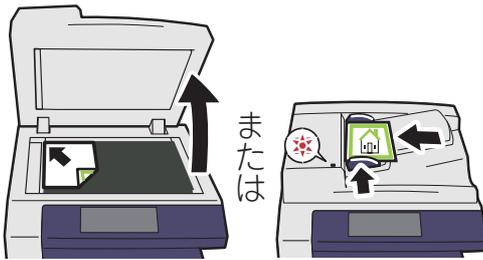
10 [決定] を選択します。

ポイント [姓]、[名] を入力しておく、検索するとき便利です。



11 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し [閉じる] を選択します。

スキャンした文書をメール送信する



1 スキャンする文書をセットします。



2 [スキャナー(メール送信)] を選択します。



3 [宛先表] を選択します。

ポイント 直接メールアドレスを入力する場合は、[キーボード] を選択します。



4 [本体宛先表一覧] を選択します。

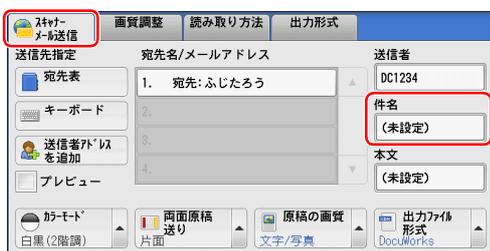


5 [宛先名 / メールアドレス] のリストから、送信相手を選択し、[宛先→] を選択します。

ポイント 必要に応じて、宛先表の中から [Cc →]、[Bcc →] を選択します。



6 [閉じる] を選択します。

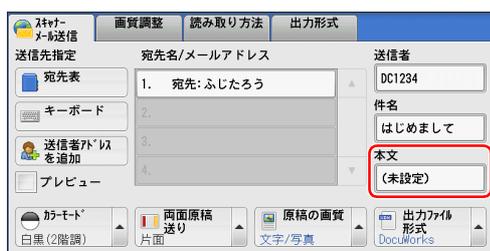


7 [スキャナー メール送信] タブを選択し、[件名] を選択します。

ポイント [送信者] には、本機のメールアドレスや認証ユーザーのメールアドレスなどが表示されます。



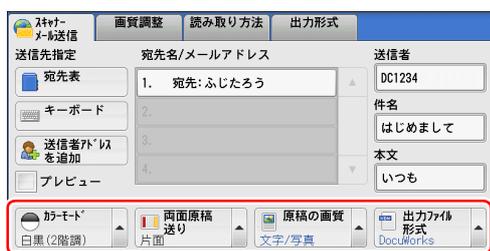
8 メールの件名を入力し、[決定] を選択します。



9 [本文] を選択します。

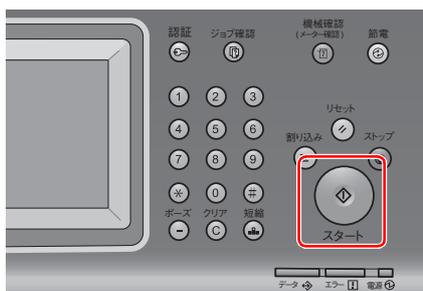


10 メールの本文を入力し、[決定] を選択します。



11 必要に応じて、[カラーモード]、[両面原稿送り]、[原稿の画質]、[出力ファイル形式] などの項目を設定します。

ポイント 文書に合わせて、カラー / モノクロや、片面 / 両面などを設定します。



12 <スタート> ボタンを押します。

メールが送信されたか確認する



1 <ジョブ確認> ボタンを押します。



2 [実行完了] タブまたは [実行中 / 待ち] タブを選択し、メール送信した文書の [状態] を確認します。



3 [閉じる] を選択します。

受信した文書をコンピューターで確認する



1 コンピューターで、本機のアドレスから送られているメールを開き、添付文書を確認します。

設定を始める前に

ファクス機能

スキャン機能

プリント機能

認証、集計機能

▶▶▶ プリント機能

Windows からプリントする P.62

Mac OS X からプリントする P.69

プライベートプリントでプリントする（プライベートプリント） P.75

使用しているコンピューターの画面イメージは、2009年9月現在のものです。

各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものとは異なる場合があります。



プリント機能

Windows からプリントする

本機のプリンター機能を使うには、お使いのコンピューターに、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

プリンタードライバーとは、コンピューターに接続されているプリンターを管理するプログラムです。プリンタードライバーを使うことで、用紙のサイズや向き、プリントする部数を設定できます。また、複数のページをまとめて1枚にプリント（N アップ）したり、両面でプリント、カラー文書を白黒でプリントといった、本機の様々な機能を活用できます。

ここでは、Windows でのプリント方法について説明します。



プリント用の標準ドライバーをダウンロードする

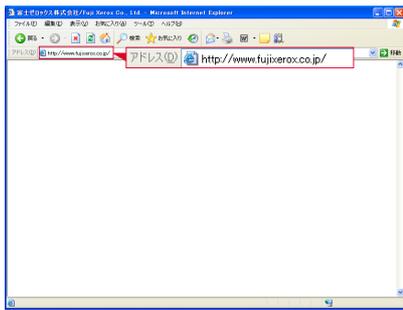
プリンタードライバーの入手方法は、次の2つがあります。

- ・ 本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使う。
- ・ 弊社のホームページからダウンロードする。

本書では、弊社のホームページから標準ドライバー（ART EX ドライバー）をダウンロードしてインストールする方法を説明します。



- 1 コンピューターの任意の場所に、ダウンロード用のフォルダーを作成し、任意の名前を付けます。



2 Internet Explorer (Web ブラウザー) の [アドレス] に次の URL (ホームページアドレス) を入力し、〈Enter〉キーを押します。

http://www.fujixerox.co.jp/

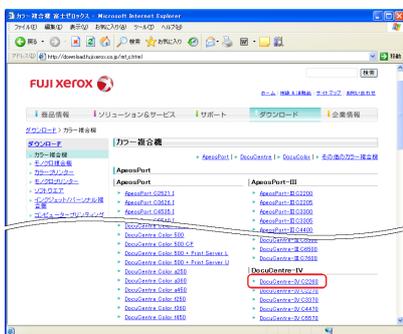


3 [ダウンロード] をクリックします。

ポイント ホームページの構成やデザインは、予告なく変更されることがあります。



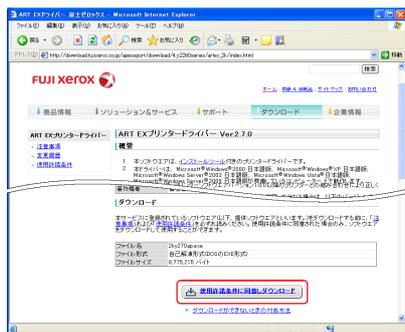
4 [カラー複合機] をクリックします。



5 P.12 の表に記入した本機の機種名をクリックします。



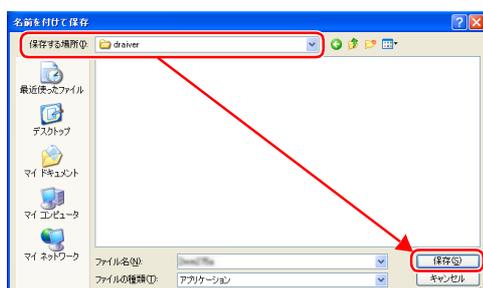
6 [プリンタードライバー] の [標準ドライバー (ART EXドライバー)] から、お使いのコンピュータの OS (オペレーティングシステム) をクリックします。



7 [使用許諾条件に同意しダウンロード] をクリックします。



8 [ファイルを保存] をクリックします。



9 ファイルの保存先を、P.62 の手順 1 で作成したフォルダーに指定し、[保存] をクリックします。



プリント用の標準ドライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール（プリンターのセットアップ）方法には、「標準セットアップ」と「カスタムセットアップ」があります。

本書では、本機がコンピューターと同じサブネットに TCP/IP で接続されている場合と、USB で接続されている場合を例に、「標準セットアップ」でインストールする方法を説明します。

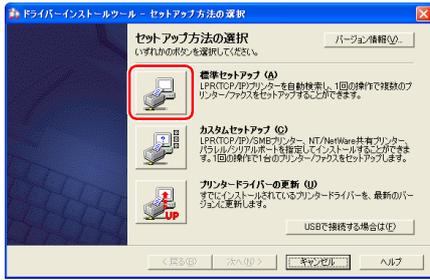
● TCP/IP 接続の場合



1 「プリント用の標準ドライバーをダウンロードする (P.62)」でダウンロードした標準ドライバーを、ダブルクリックします。

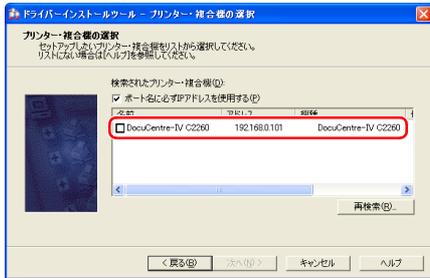


2 [解凍先フォルダ] が、P.62 の手順 1 で作成したフォルダー名になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



3 [標準セットアップ] ボタンをクリックします。

ポイント 本機が、コンピュータと同じサブネットにTCP/IPで接続されていない場合は、[カスタムセットアップ] ボタンをクリックしてください。

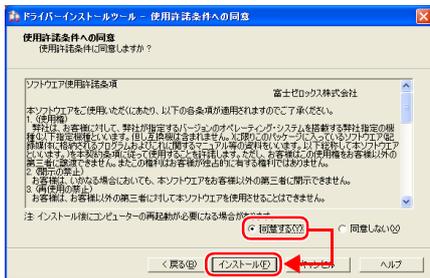


4 ネットワークの同じサブネットで TCP/IP 接続されている機器が、リスト表示されます。[アドレス] に表示された IP アドレスが、P.12 の表に記入した本機の IP アドレスと合っていることを確認します。

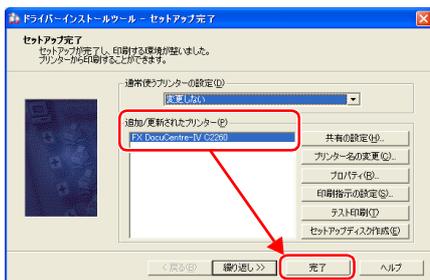
ポイント 本機が表示されない場合は、[戻る] をクリックし、[カスタムセットアップ] ボタンをクリックしてください。



5 本機をチェックし、[次へ] をクリックします。



6 使用許諾条件を確認して、[同意する] をチェックし、[インストール] をクリックします。



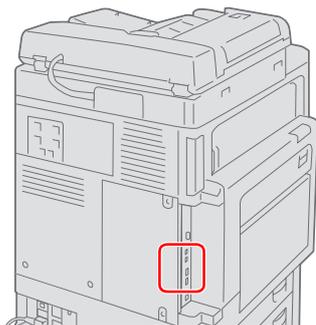
7 セットアップ完了画面が表示されたら、[追加 / 更新されたプリンタ] に、本機が表示されていることを確認し、[完了] をクリックします。

ポイント 警告画面が表示されたら、[続行] ボタンをクリックして、インストール作業を続行してください。

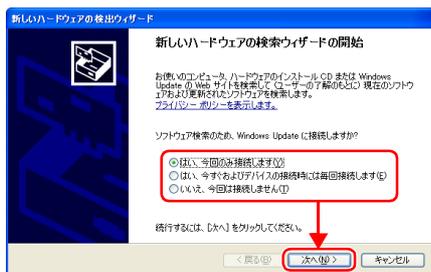


8 [はい] をクリックします。

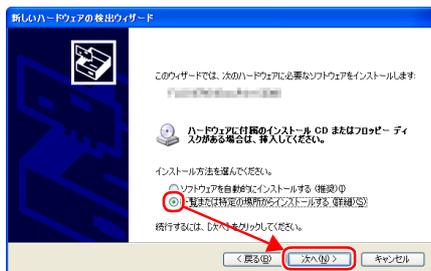
● USB 接続の場合



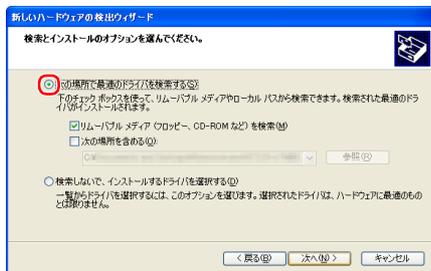
1 本機の USB インターフェイスコネクタに、USB ケーブルを接続します。



2 コンピューターの USB インターフェイスコネクタに、USB ケーブルを接続します。[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面から、接続方法を選択し [次へ] をクリックします。



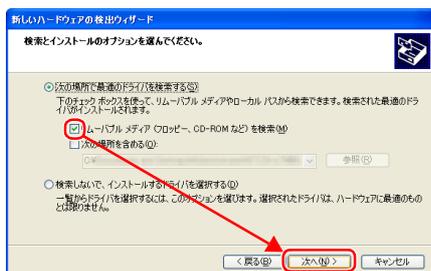
3 [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択し、[次へ] をクリックします。



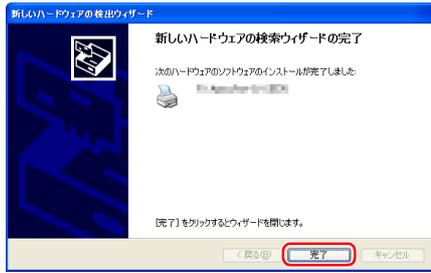
4 [次の場所で最適なドライバーを検索する] を選択します。



5 付属のドライバー-CD キットを CD-ROM ドライブにセットします。



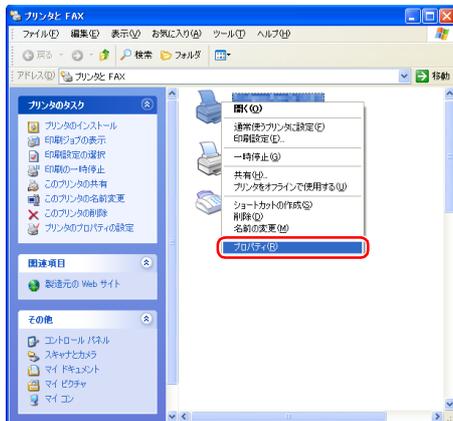
6 [リムーバブルメディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索] をチェックし、[次へ] をクリックします。



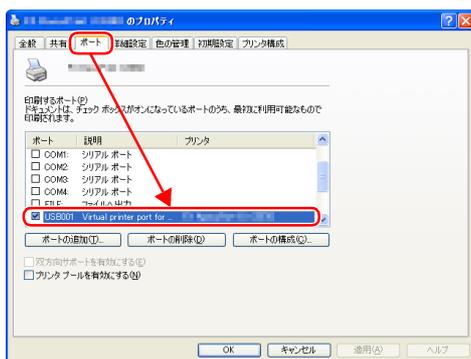
7 [完了] をクリックします。



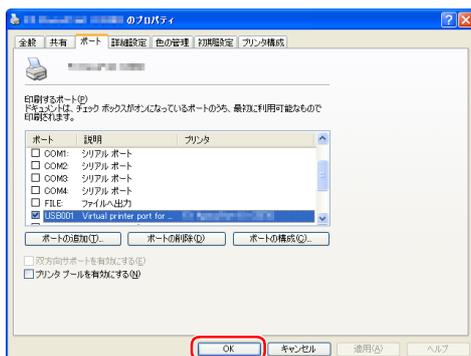
8 [スタート] メニューから、[プリンタと FAX] を選択します。



9 本機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。



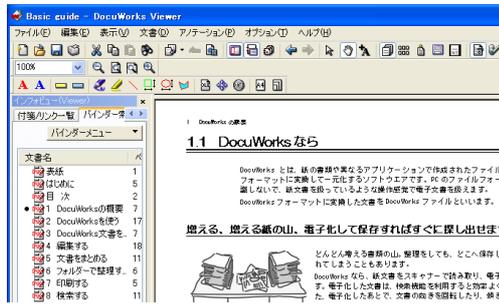
10 [ポート] タブを選択し、[印刷するポート] で USB ポートが設定されていることを確認します。



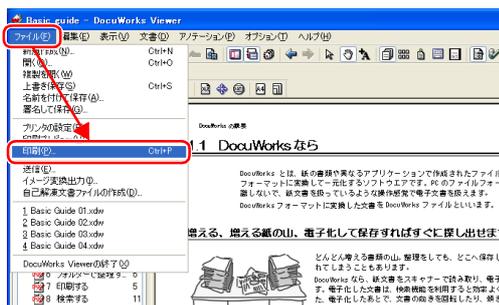
11 プリンタードライバのプロパティ画面の [OK] をクリックし、閉じます。



コンピューターからプリントを指示する

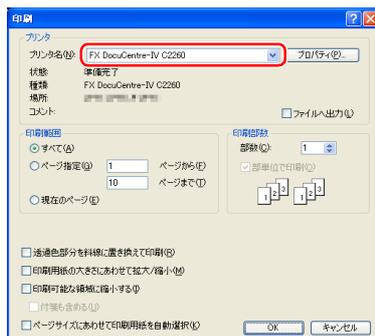


1 プリントする文書を表示します。



2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

ポイント アプリケーションソフトウェアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



3 [プリンタ名] で本機を選択します。

ポイント 必要に応じて、[プロパティ] で設定を変更します。



4 [OK] をクリックします。

プリント機能

Mac OS X からプリントする

本機のプリンター機能を使うには、お使いのコンピューターに、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

プリンタードライバーとは、コンピューターに接続されているプリンターを管理するプログラムです。プリンタードライバーを使うことで、用紙のサイズや向き、プリントする部数を設定できます。また、複数のページをまとめて1枚にプリント（Nアップ）したり、両面でプリント、カラー文書を白黒でプリントといった、本機の様々な機能を活用できます。

ここでは、Macintosh でのプリント方法について説明します。



プリント用の標準ドライバーをインストールする

プリンタードライバーの入手方法は、次の2つがあります。

- ・ 本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使う。
- ・ 弊社のホームページからダウンロードする。

本書では、ドライバー CD キットの CD-ROM から標準ドライバー（Mac OS X 用プリンタードライバー）をインストールする方法を説明します。



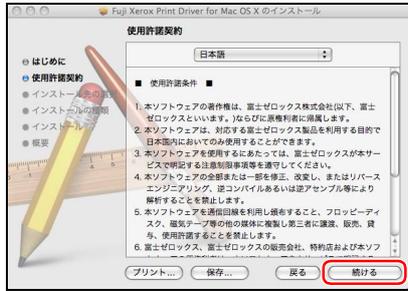
- ・ Mac OS X 用プリンタードライバーは、Mac OS X Version 10.5 / 10.6 に対応しています。
- ・ Mac OS X にプリンタードライバーをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。
- ・ AppleTalk をお使いの際は、別途 Adobe PostScript 3 キットが必要です。



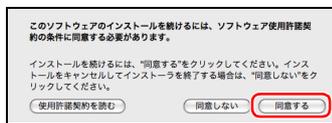
- 1 [Jpn > MacDrivr] ボリューム内にある、[Fuji Xerox Print Driver for Mac OS X Installer] アイコンを、ダブルクリックします。



2 [続ける] をクリックします。



3 使用許諾条件を確認し、[続ける] をクリックします。



4 [同意する] をクリックします。



5 [続ける] をクリックします。



6 [インストール] をクリックします。



7 [名前] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。



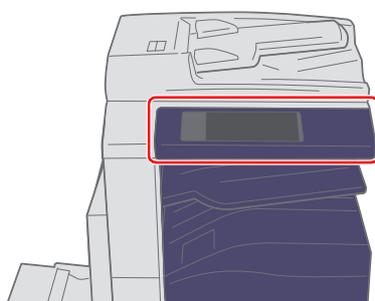
8 [閉じる] をクリックします。



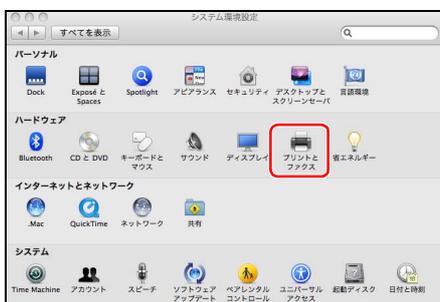
プリンターを追加する

[プリンタリスト] ウィンドウに、本機を追加します。

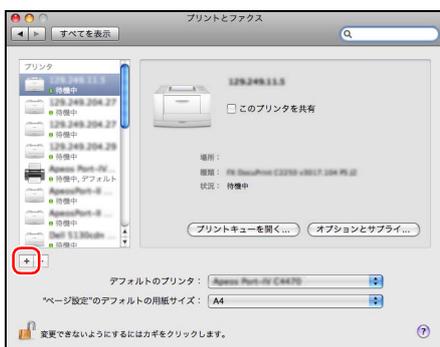
ポイント 本機と Macintosh の接続の方法によって、操作手順は異なります。ここでは、LPR 接続の場合について説明します。



1 本機の電源が入っていることを確認します。



2 [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリントとファクス] を選択します。

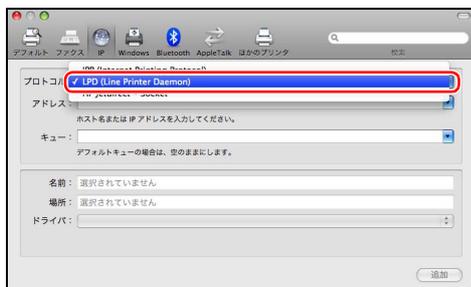


3 [プリントとファクス] ウィンドウにある左下の [+] ボタンをクリックします。

ポイント アプリケーションソフトウェアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



4 [プリンタリスト] ウィンドウの [IP] をクリックします。



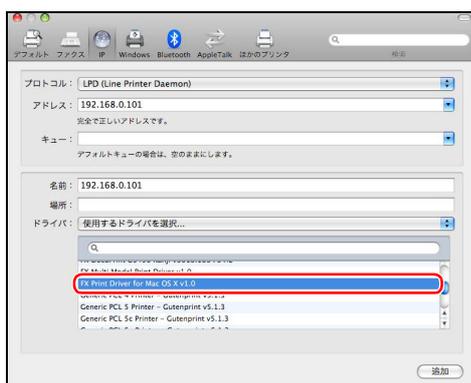
5 [プロトコル] プルダウンメニューで [LPD (Line Printer Daemon)] を選択します。



6 [アドレス] に、本機の IP アドレスを入力します。

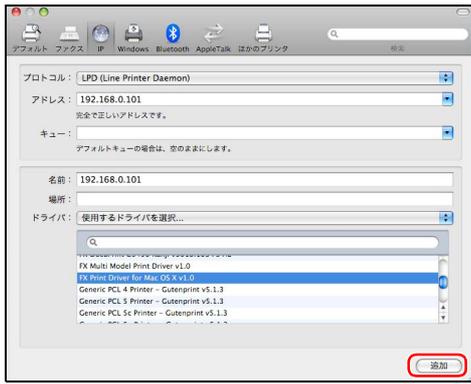


7 [ドライバ] から [使用するドライバを選択...] を選択します。

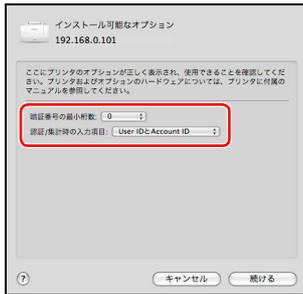


8 表示されたドライバの一覧から、「FX Print Driver for Mac OS X v.xxx」を選択します。

ポイント 「xxx」は、バージョンを表します。



9 [追加] をクリックします。



10 [インストール可能なオプション] ウィンドウで、オプションの設定をします。

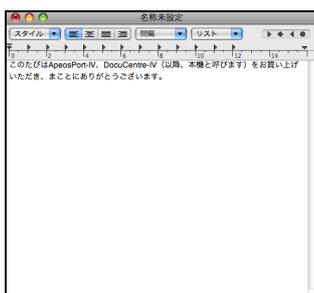
ポイント オプションの設定は、インストール後でも変更できます。



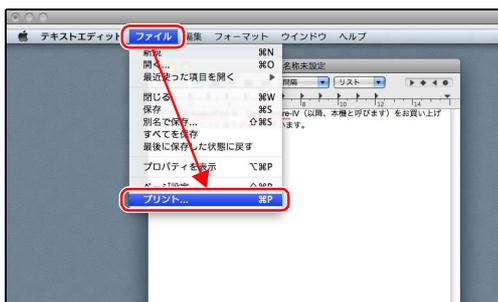
11 [続ける] をクリックします。



コンピューターからプリントを指示する

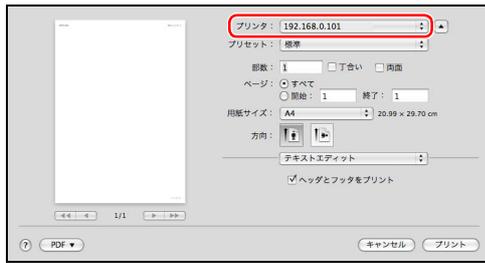


1 プリントする文書を表示します。



2 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

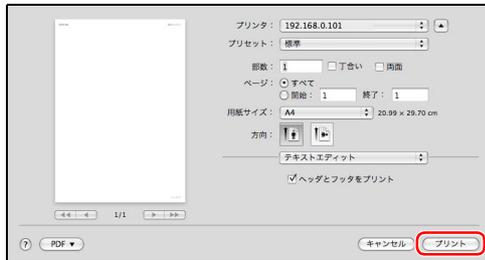
ポイント アプリケーションソフトウェアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



3 [プリンタ] で本機を選択します。

ポイント

必要に応じて、各設定を変更します。



4 [プリント] をクリックします。

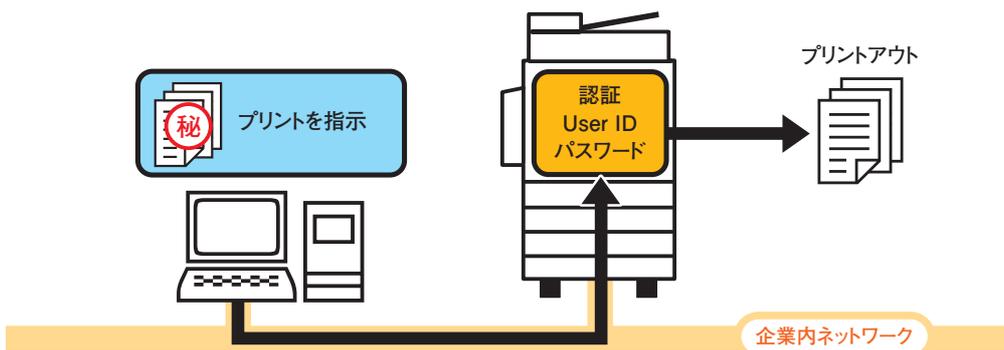
ポイント

お使いのアプリケーションによって、表示される内容が異なります。

プリント機能

プライベートプリントでプリントする
(プライベートプリント)

プライベートプリントとは、プリント指示の際に User ID を設定し、本機で認証操作を行うことで、自分がプリント指示した文書だけを出力できる機能です。これにより、機密文書を第三者に見られる危険性を減らすとともに、放置プリントを減らすことでコスト削減が可能になります。



本書では、本機に登録したユーザーから送信された文書を認証してプライベートプリントに保存して、本機で User ID を入力することでプリントアウトできるように設定する方法を説明します。



本機の認証を「本体認証」に設定する



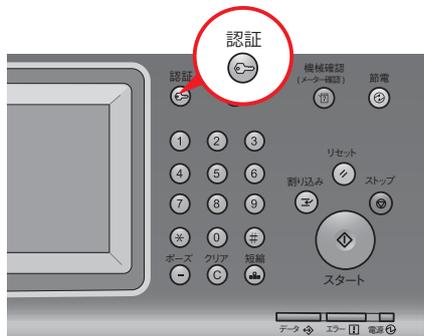
1 「本体認証を設定する (P.87)」と同じ操作をして、本機の認証を「本体認証」に設定します。

ポイント メニュー画面で、各機能に鍵のマークがついていることを確認します。



パスワードを運用する

ユーザーが本機のパネルで認証をするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。セキュリティを強化するためにも、パスワードの運用をお勧めします。



1 〈認証〉ボタンを押します。

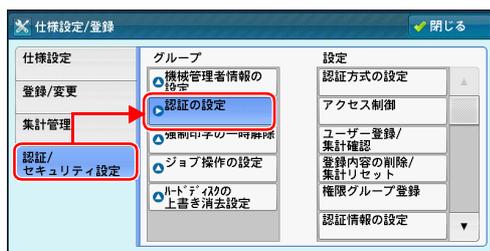


2 機械管理者 ID を入力し、[確定] を選択します。

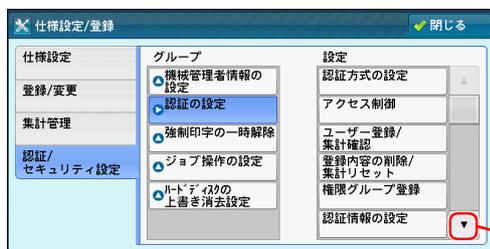
- ・ 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・ 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。



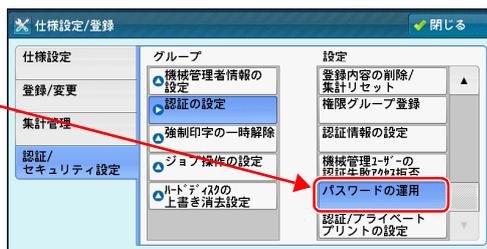
3 [仕様設定 / 登録] を選択します。

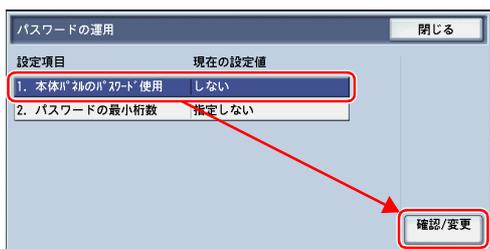


4 [認証 / セキュリティ設定] を選択し、[認証の設定] を選択します。

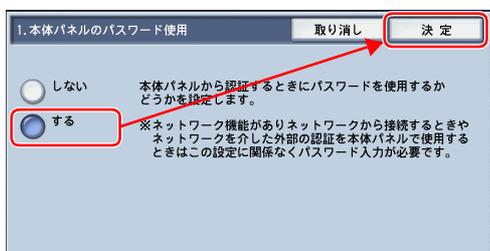


5 ▾ を押し、[パスワードの運用] を選択します。

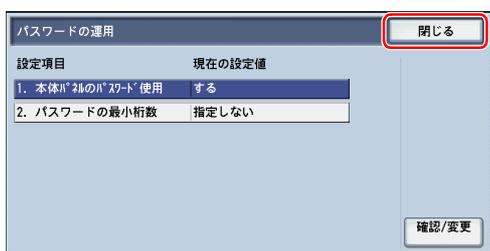




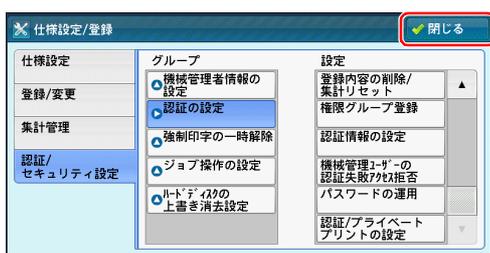
6 [本体パネルのパスワード使用] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



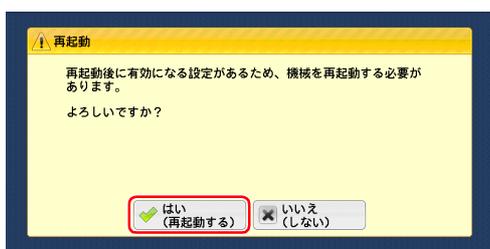
7 [する] を選択し、[決定] を選択します。



8 [閉じる] を選択します。



9 [閉じる] を選択します。



10 [はい (再起動する)] を選択します。

 以降、本機を操作するときには、User ID とパスワードが必要になります。

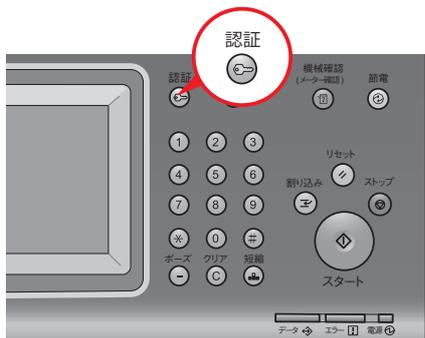


本機にユーザーを登録する



1 「ユーザーを登録する (P.93)」と同じ操作をして、P.18 の表に記入した User ID、ユーザー名、パスワードを、本機に登録します。

本機でプライベートプリントを設定する



1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、[次へ] を選択します。



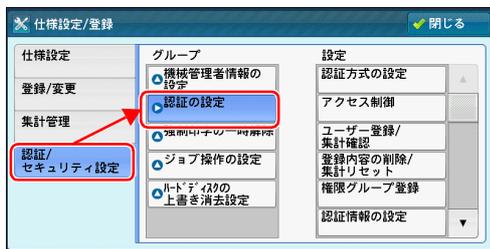
3 パスワードを入力し、[確定] を選択します。



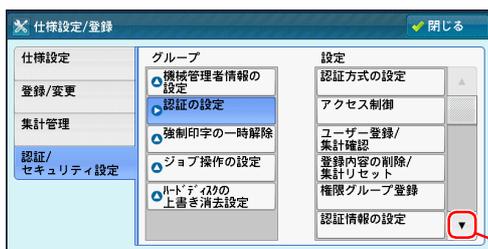
- ・機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。



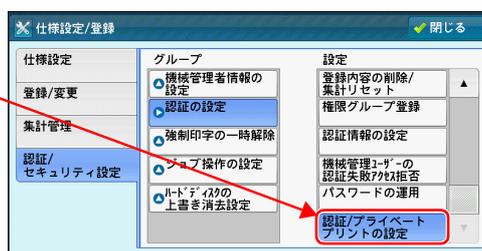
4 [仕様設定 / 登録] を選択します。



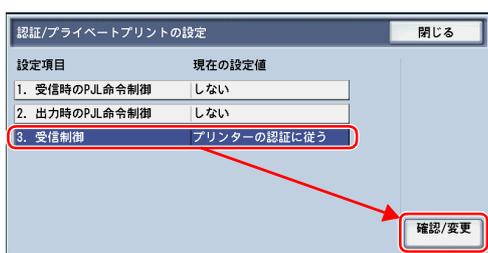
5 [認証 / セキュリティ設定] を選択し、[認証の設定] を選択します。



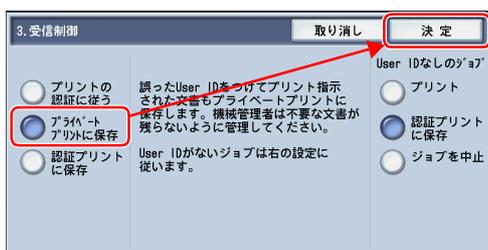
6 [認証 / プライベートプリントの設定] を選択します。



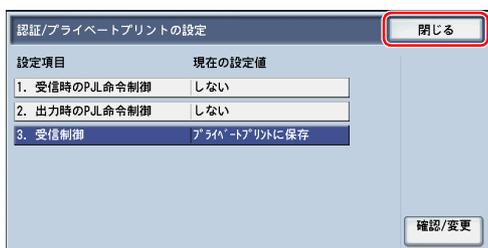
7 [受信制御] を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



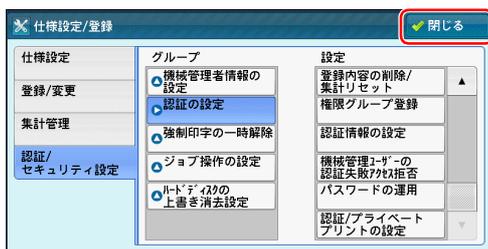
8 [プライベートプリントに保存] を選択し、[決定] を選択します。



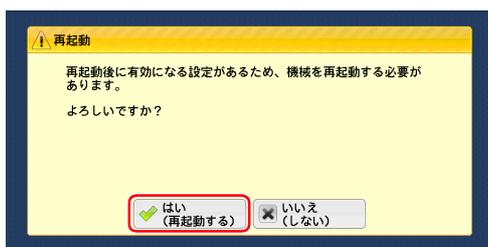
9 [閉じる] を選択します。



10 [閉じる] を選択します。



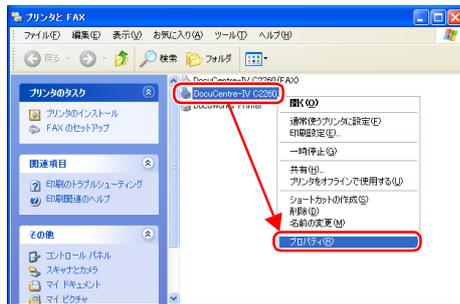
11 [[はい (再起動する)] を選択します。



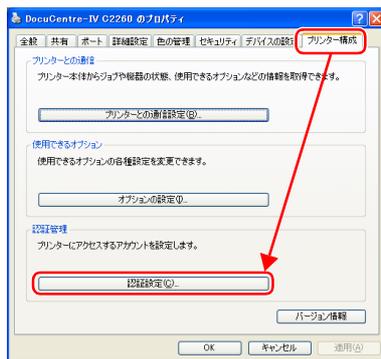
コンピューターを設定する



1 [スタート] > [プリンタと FAX] を選択します。



2 本機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。



3 [プリンター構成] タブの [認証設定] をクリックします。



4 [認証管理方法の設定] が [認証管理する] になっていることを確認します。

5 [常に同じ認証情報を使用する] がチェックされていることを確認し、[User ID の指定] から [ID を入力する] を選択します。

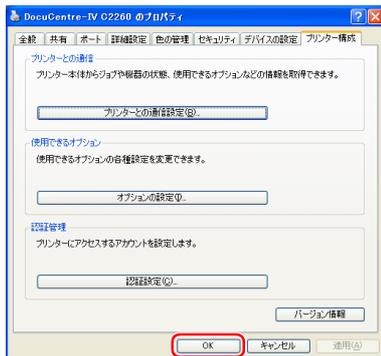


6 「本機にユーザーを登録する (P.77)」で登録した User ID を入力し、[OK] をクリックします。

ポイント パスワードを設定した場合は、[パスワード] も入力します。



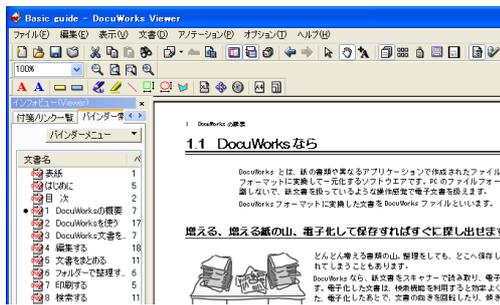
7 [OK] をクリックします。



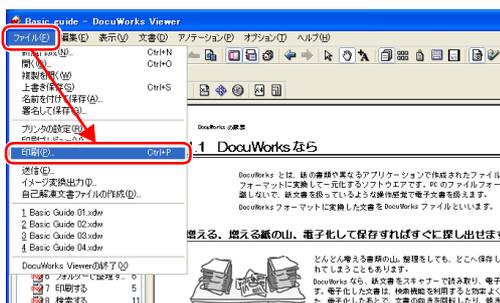


コンピューターからプリントを指示する

1 プリントしたい文書を表示します。



2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

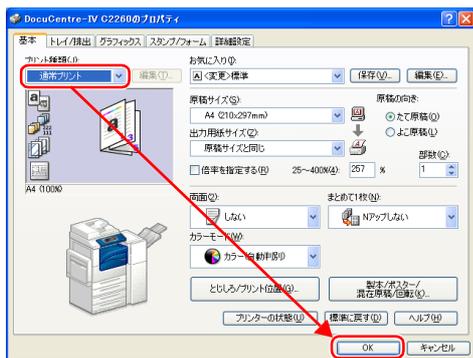


ポイント アプリケーションソフトウェアによっては、メニューの呼びかたが異なります。

3 [プリンタ名] で本機を選択し、[プロパティ] をクリックします。

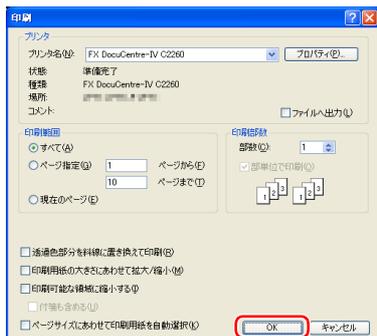


4 [プリント種類] で [通常プリント] を選択し、[OK] をクリックします。



5 [OK] をクリックします。

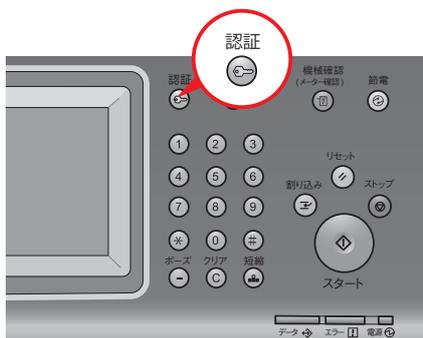
ポイント プリントを指示した文書が、本機のプライベートプリントに保存されます。続いて、本機の前へ移動して、保存された文書をプリントします。





本機からプリントする

1 <認証> ボタンを押します。



2 「本機にユーザーを登録する (P.77)」で登録した User ID を入力し、[次へ] を選択します。



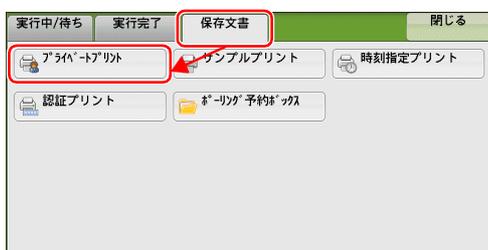
3 「本機にユーザーを登録する (P.77)」で登録したパスワードを入力し、[確定] を選択します。



4 <ジョブ確認> ボタンを押します。



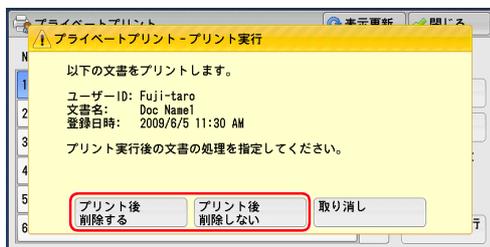
5 [保存文書] タブを選択し、[プライベートプリント] を選択します。



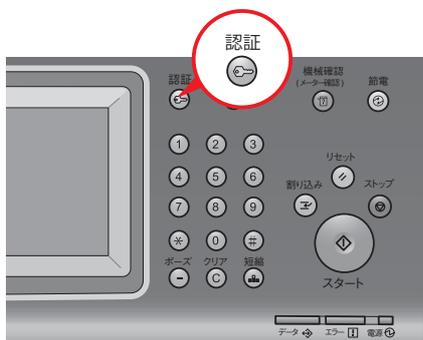


6 蓄積した文書の一覧から、プリントする文書を選択し、[プリント実行] を選択します。

ポイント 一度に複数の文書を選択できます。



7 プリントしたあと、蓄積した文書を削除するかどうかを選択します。



8 〈認証〉ボタンを押します。



9 [認証解除] を選択し、認証ユーザーモードを終了します。

ポイント 認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。

設定を始める前に

ファクス機能

スキャン機能

プリント機能

認証、集計機能

▶▶▶ 認証、集計機能

ユーザーごとに枚数管理、機能利用制限を設定する（集計管理 / ユーザー登録 / 利用制限の設定）

P.86



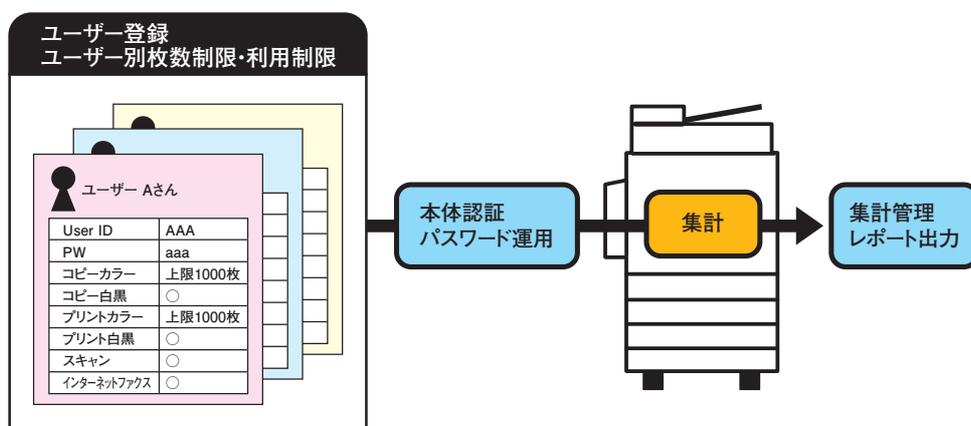
認証、集計機能

ユーザーごとに枚数管理、機能利用制限を設定する(集計管理/ユーザー登録/利用制限の設定)

ユーザーごとに、コピー、ファクス、スキャナー、プリンターの利用量を集計したり、各機能の利用を制限することができます。

この機能を利用すると、オフィスのプリントやコピーを節約する手がかりができます。

集計管理や利用制限の機能を利用するためには、本機を認証モードに設定し、利用するユーザーを識別させる必要があります。



ユーザーごとの利用設定例を、次に記載します。各ケースに応じて、本書の操作手順を参照してください。

Case1 ユーザーごとに各機能の集計管理を行いたい



Case2 ユーザーごとに集計管理を行うと同時に、カラーコピーの上限枚数を設定したい

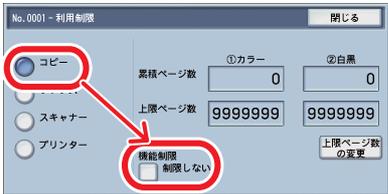
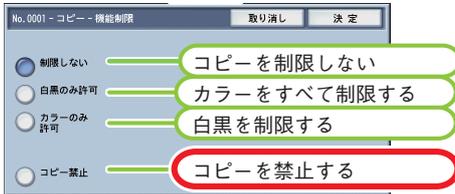
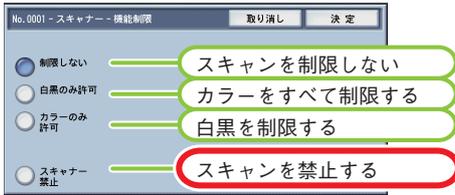
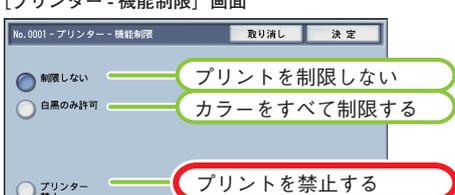
注記 ファクス機能は上限ページ数を設定できません。



カラー/白黒でコピー(スキャン/プリント)できる上限ページ数を、1~9999999の範囲で1ページごとに〈数字〉ボタンで入力します。入力場所を切り替えるときは、[決定/次選択]を選択して▶を移動します。画面は「コピー - 上限ページ数」画面です。

Case3 ユーザーごとに集計管理を行うと同時に、使える機能を制限したい

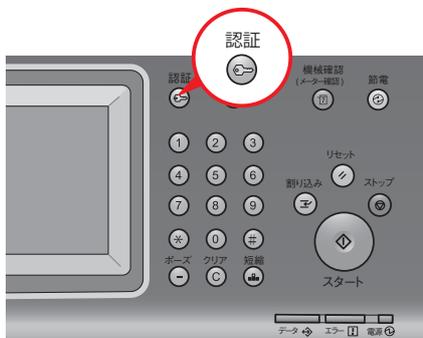
- 本体認証を設定
P.87 ~ P.89
- パスワードを運用
P.89 ~ P.90
- 集計管理を設定
P.91 ~ P.92
- ユーザーを登録
P.93 ~ P.95
- 利用制限を設定
P.95 ~ P.97

<p>[利用制限] 画面</p> 	<p>[コピー - 機能制限] 画面</p>  <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 制限しない → コピーを制限しない <input checked="" type="radio"/> 白黒のみ許可 → カラーをすべて制限する <input checked="" type="radio"/> カラーのみ許可 → 白黒を制限する <input checked="" type="radio"/> コピー禁止 → コピーを禁止する
<p>[利用制限] 画面</p> 	<p>[ファクス - 機能制限] 画面</p>  <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 制限しない → ファクスを制限しない <input checked="" type="radio"/> ファクス禁止 → ファクスを禁止する
<p>[利用制限] 画面</p> 	<p>[スキャナー - 機能制限] 画面</p>  <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 制限しない → スキャンを制限しない <input checked="" type="radio"/> 白黒のみ許可 → カラーをすべて制限する <input checked="" type="radio"/> カラーのみ許可 → 白黒を制限する <input checked="" type="radio"/> スキャナー禁止 → スキャンを禁止する
<p>[利用制限] 画面</p> 	<p>[プリンター - 機能制限] 画面</p>  <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 制限しない → プリントを制限しない <input checked="" type="radio"/> 白黒のみ許可 → カラーをすべて制限する <input checked="" type="radio"/> プリンター禁止 → プリントを禁止する



本体認証を設定する

本機を利用するユーザーを識別するために、本体を認証モードにします。



1 〈認証〉 ボタンを押します。

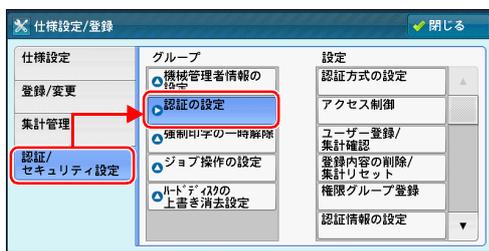


2 機械管理者 ID を入力し、[確定] を選択します。

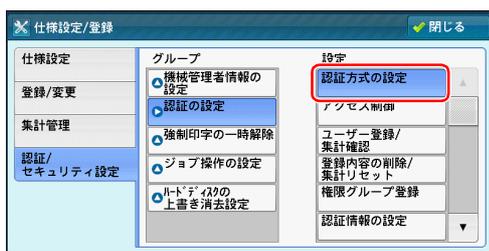
- ・機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。



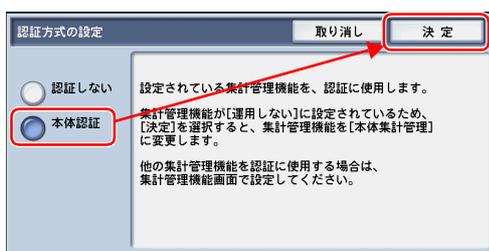
3 [仕様設定 / 登録] を選択します。



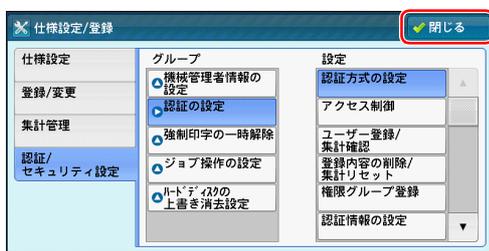
4 [認証 / セキュリティ設定] を選択し、[認証の設定] を選択します。



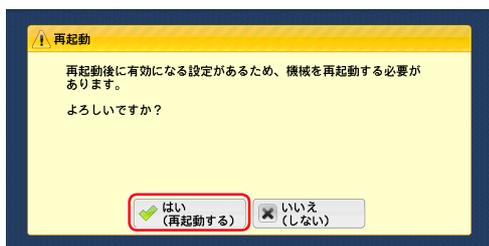
5 [認証方式の設定] を選択します。



6 [本体認証] を選択し、[決定] を選択します。



7 [閉じる] を選択します。



8 [はい (再起動する)] を選択します。



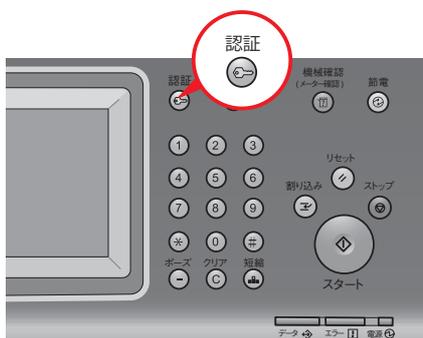
9 メニュー画面で、各機能に鍵のマークがついていることを確認します。



以降、本機を操作するときには、User ID 認証が必要になります。

パスワードを運用する

ユーザーが本機のパネルで認証をするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。セキュリティを強化するためにも、パスワードの運用をお勧めします。



1 <認証> ボタンを押します。



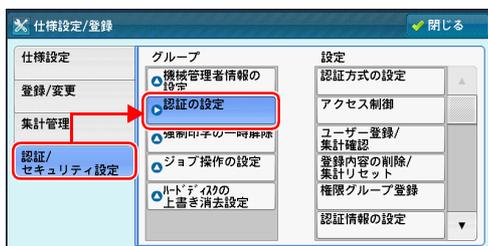
2 機械管理者 ID を入力し、[確定] を選択します。



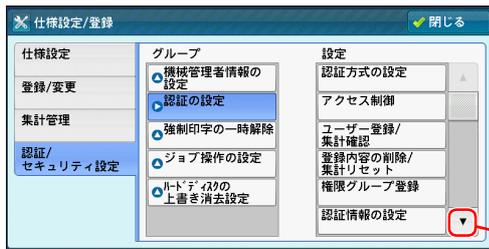
- ・ 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・ 認証中は、<認証> ボタンが点灯します。



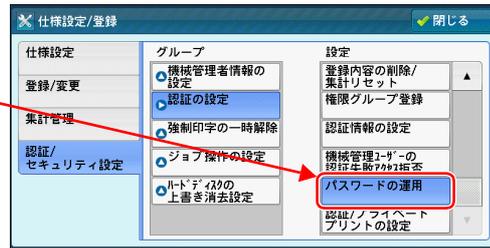
3 [仕様設定 / 登録] を選択します。



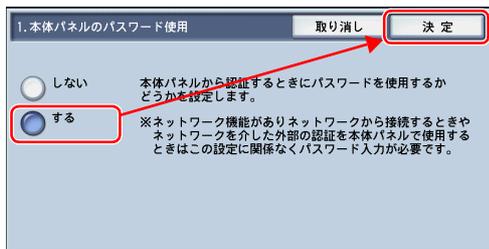
4 [認証 / セキュリティ設定] を選択し、[認証の設定] を選択します。



5 [パスワードの運用] を押し、[パスワードの運用] を選択します。



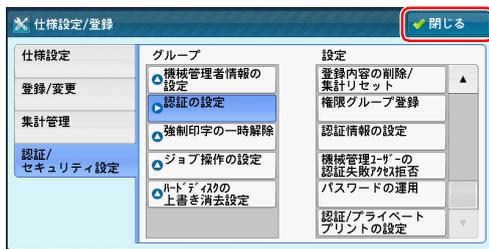
6 [本体パネルのパスワード使用] を選択し、[確認/変更] を選択します。



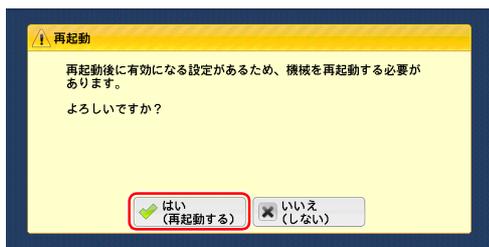
7 [する] を選択し、[決定] を選択します。



8 [閉じる] を選択します。



9 [閉じる] を選択します。



10 [はい (再起動する)] を選択します。



以降、本機を操作するときには、User ID とパスワードが必要になります。

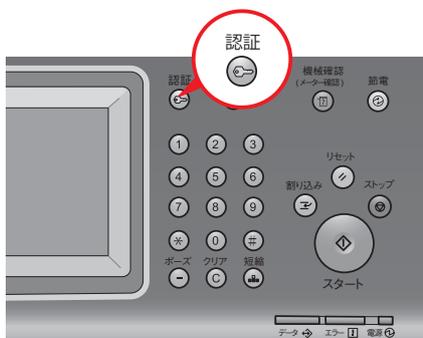


集計管理を設定する

ユーザー別集計管理レポートを本機で出力させる場合に、集計する各機能を「集計する」に設定します。



前項でパスワードの運用を設定したので、以降、本機を操作するには User ID とパスワードを入力します。



1 「認証」ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、「次へ」を選択します。



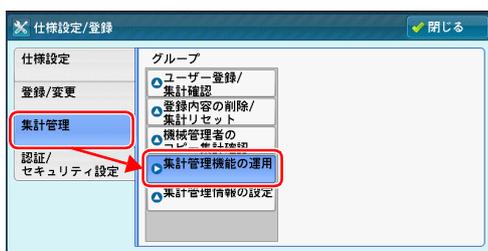
3 パスワードを入力し、「確定」を選択します。



- ・機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・認証中は、「認証」ボタンが点灯します。



4 「仕様設定 / 登録」を選択します。



5 「集計管理」を選択し、「集計管理機能の運用」を選択します。



6 [本体集計管理] が選択されていることを確認し、[各機能の集計] を選択します。



7 集計したい機能を選択し、[確認 / 変更] を選択します。



8 [集計する] を選択し、[決定] を選択します。

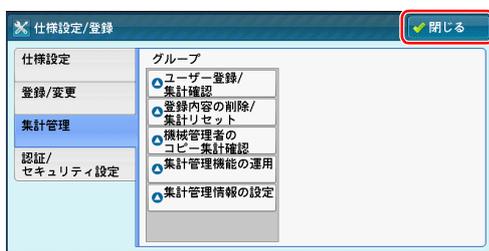
ポイント ここでは、設定項目にコピーを選択したときの画面を例に説明します。



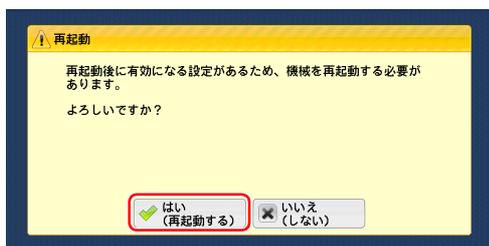
9 必要に応じて、手順 7、8 を繰り返して集計したい機能を設定し、[閉じる] を選択します。



10 [決定] を選択します。



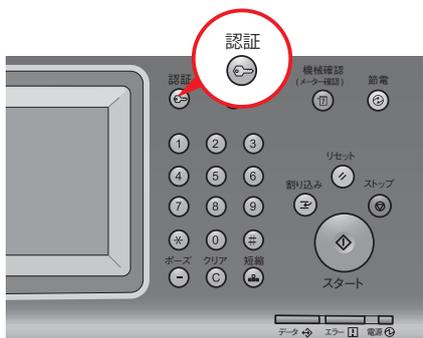
11 [閉じる] を選択します。



12 [はい (再起動する)] を選択します。

ユーザーを登録し、機能の利用制限を設定する

● ユーザーを登録する



1 <認証> ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、[次へ] を選択します。

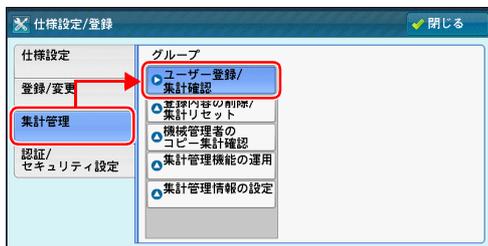


3 パスワードを入力し、[確定] を選択します。

- ポイント**
 - ・機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
 - ・認証中は、<認証> ボタンが点灯します。



4 [仕様設定 / 登録] を選択します。



5 [集計管理] を選択し、[ユーザー登録 / 集計確認] を選択します。



6 任意の [(未登録)] 番号を選択し、[登録 / 確認] を選択します。

7 登録する User ID を入力し、[決定] を選択します。

ポイント User ID は半角英数字 32 文字以内で設定します。

8 [ユーザー名] を選択します。

9 登録するユーザー名を入力し、[決定] を選択します。

ポイント ユーザー名は全角 16 文字以内、半角 32 文字以内で設定します。

10 [パスワード] を選択します。

11 [新しいパスワード] を選択します。

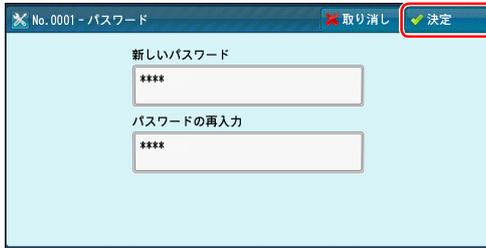
12 登録するパスワードを入力し、[決定] を選択します。

ポイント パスワードは、4 ～ 12 桁の範囲で設定します。

13 [パスワードの再入力] を選択します。



14 手順 12 で入力したパスワードを再度入力し、[決定] を選択します。



15 [決定] を選択します。



16 [閉じる] を選択します。



17 手順 6 の [ユーザー登録 / 集計確認] 画面から繰り返し、必要なユーザーを登録します。

● 機能の利用制限を設定する

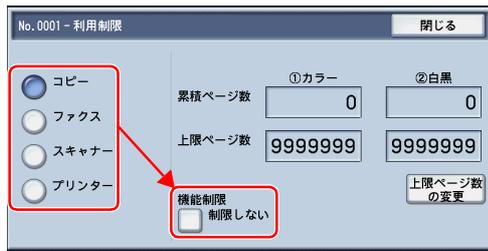
登録したユーザーに利用制限をつける場合は、以降の手順で設定します。



18 [ユーザー登録 / 集計確認] 画面から利用制限を設定するユーザーを選択し、[登録 / 確認] 画面を選択します。



19 [利用制限] を選択します。



20 制限する機能を選択し、「機能制限」を選択します。



21 制限する内容を選択し、「決定」を選択します。

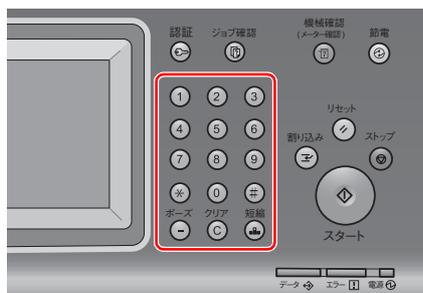


22 「上限ページ数の変更」を選択します。

ポイント コピー、スキャナー、プリンター機能を選択した場合は、上限ページ数を変更できます。



23 「決定 / 次選択」を選択し、上限ページ数を設定するカラーモードを選択します。



24 操作パネルの〈数字〉ボタンで枚数を入力します。



25 「決定」を選択します。



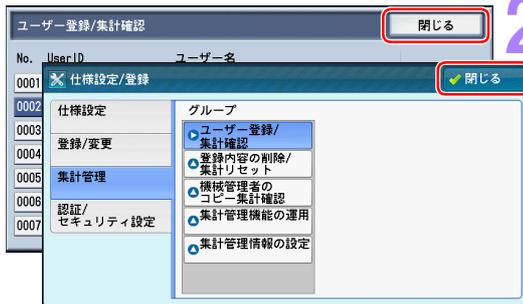
26 「閉じる」を選択します。



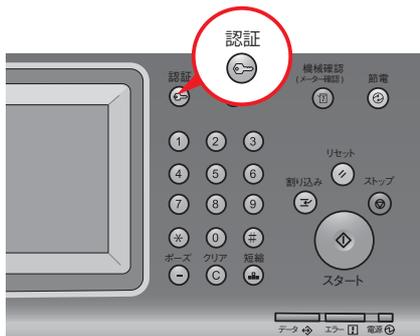
27 「閉じる」を選択します。



28 必要に応じて、手順 18 の「ユーザー登録 / 集計確認」画面から繰り返し、他のユーザーの利用制限を設定します。



29 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し「閉じる」を選択します。



30 「認証」ボタンを押します。



31 「認証解除」を選択し、機械管理者モードを終了します。

ポイント 認証が解除されて、「認証」ボタンが消灯していることを確認します。

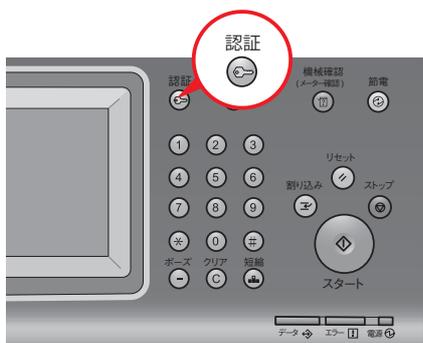


ユーザー別集計管理レポートを出力する

● ユーザー別集計管理レポート

ユーザーごとに、各機能で利用したページ数や枚数を集計した結果を、紙で出力できます。コピー、プリンター、スキャナー、ファクスの機能ごとの集計管理レポートを出力できます。集計管理レポートの内容は、User ID ごとの各機能別の利用枚数、カラー利用制限情報、枚数制限情報です。
例：スキャナー集計管理レポート

DocuCentre-IV C2260		スキャナー集計管理レポート											
初期化日時 2008/08/24 05:37 PM		レポート印刷日時: 2008/08/24 10:10 PM ページ: 1 (6/6頁)											
No.	ユーザー名	User ID	上限ページ数		累積ページ数		ファイナル転送ページ数		ボックス保存ページ数		メール送信ページ数		
			総量	カラー	総量	カラー	総量	カラー	総量	カラー	総量	カラー	
0001	宮上太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0002	山本太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0003	佐藤太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0004	鈴木太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0005	田中太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0006	山田太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0007	佐々木太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0008	鈴木太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0009	山田太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0010	佐藤太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0011	山本太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0012	田中太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0013	山田太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0014	佐藤太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0015	山本太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0016	田中太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0017	山田太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0018	佐藤太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0019	山本太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	
0020	田中太郎	Full Test	0	9999999	0	0	0	0	0	0	0	0	



1 <認証> ボタンを押します。



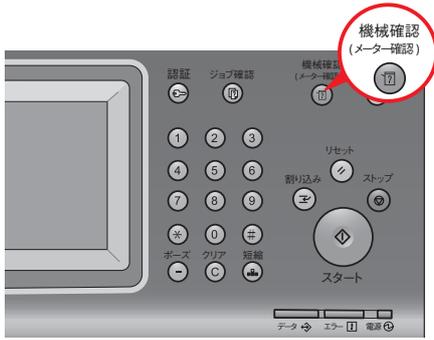
2 機械管理者 ID を入力し、[次へ] を選択します。



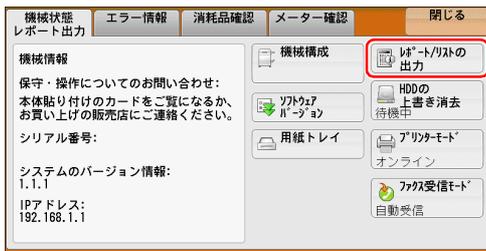
3 パスワードを入力し、[確定] を選択します。

ポイント

- ・機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・認証中は、<認証> ボタンが点灯します。



4 <機械確認（メーター確認）> ボタンを押します。



5 [レポート / リストの出力] を選択します。



6 [ユーザー別集計管理] を選択します。

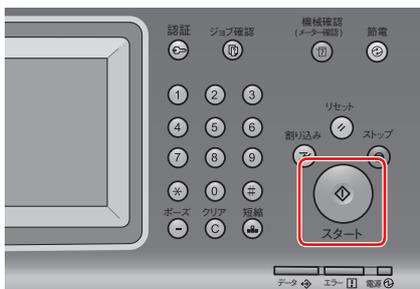


7 出力したい集計管理レポートのボタンを選択します。

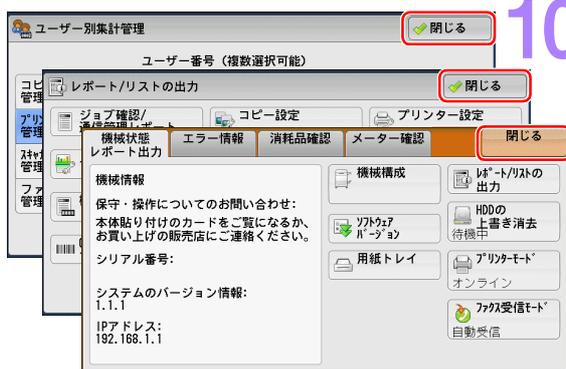


8 [ユーザー番号（複数選択可能）] で、出力したいユーザーの User ID の範囲を選択します。

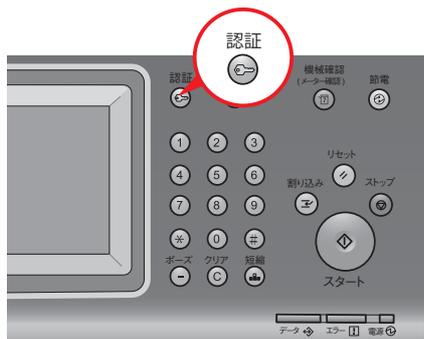
ポイント すべてのユーザーを選択したい場合は、[すべて選択] を選択します。



9 <スタート> ボタンを押します。集計レポートが出力されます。



10 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し [閉じる] を選択します。



11 <認証> ボタンを押します。



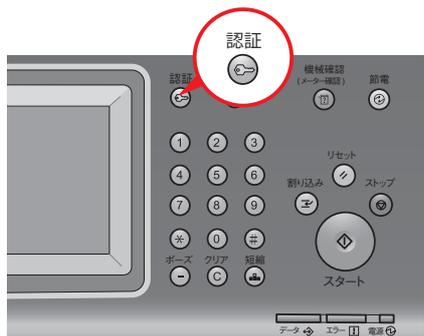
12 [認証解除] を選択し、機械管理者モードを終了します。

ポイント 認証が解除されて、<認証> ボタンが消灯していることを確認します。

ユーザー別集計カウンターをリセットする

ユーザー別の集計管理データや上限ページ数などのデータを削除することができます。必要に応じてリセットしてください。

1 <認証> ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、[次へ] を選択します。





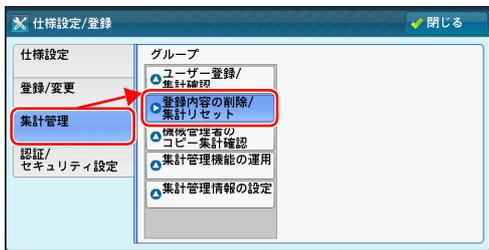
3 パスワードを入力し、[確定] を選択します。

ポイント

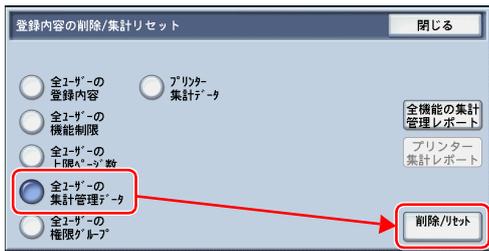
- ・ 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- ・ 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。



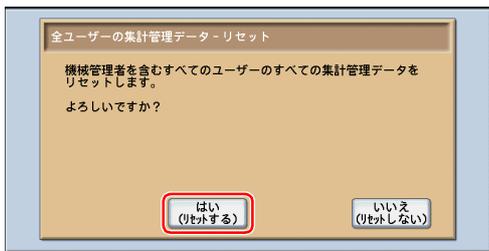
4 [仕様設定 / 登録] を選択します。



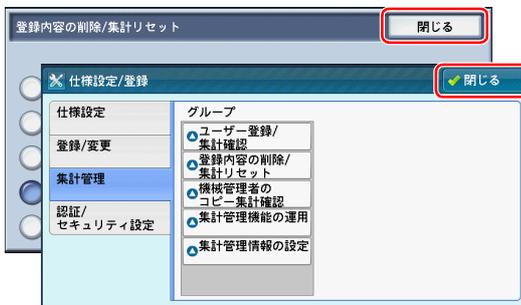
5 [集計管理] を選択し、[登録内容の削除 / 集計リセット] を選択します。



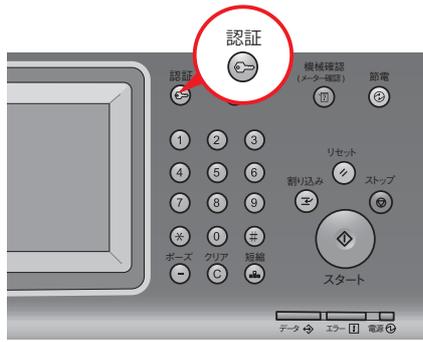
6 [全ユーザーの集計管理データ] を選択し、[削除 / リセット] を選択します。



7 データリセットの確認画面で、[はい (リセットする)] を選択します。



8 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し [閉じる] を選択します。



9 〈認証〉ボタンを押します。



10 [認証解除] を選択し、機械管理者モードを終了します。

ポイント 認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。

さくいん

記号・英数

PC 保存.....	48
TIFF Viewer	42

ラ

利用制限の設定.....	86
--------------	----

ア

宛先表（サーバー）.....	49
宛先表（メール）.....	55
インターネットファクスダイレクト	26

サ

最新ソフトウェアの入手方法.....	7
集計カウンター.....	100
集計管理.....	86
スキャン（PC 保存）.....	48
スキャン（ボックス保存）.....	36
スキャン（メール送信）.....	55

タ

ダイレクトファクス	20
ドライバー CD キット	7

ナ

ネットワークスキャナユーティリティ	39
-------------------------	----

ハ

標準ドライバー	
インストール（プリント用）.....	64, 69
ダウンロード（プリント用）.....	62
プライベートプリント	75
プリンタードライバー	62
プリント.....	62, 69
ボックス保存.....	36
本体認証.....	87

マ

メール送信.....	55
------------	----

ヤ

ユーザー登録.....	86
-------------	----

もっと便利に！複合機活用法

コピー画面に表示する機能をカスタマイズしたい！

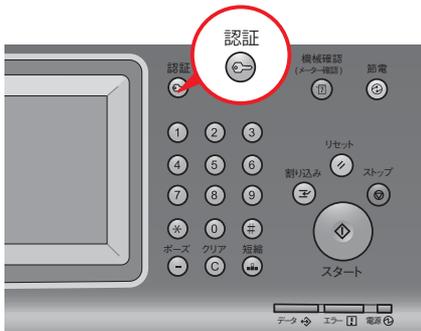
コピー画面の[コピー]タブに表示するメニューを[5 機能表示]、[7 機能表示]、[10 機能表示]から選ぶことができます。[7 機能表示]と[10 機能表示]は、他のタブにあるメニューの一部を[コピー]タブに表示できるため、タブ切り替えの手間が省けます。



▲5機能表示



1 <認証>ボタンを押します。



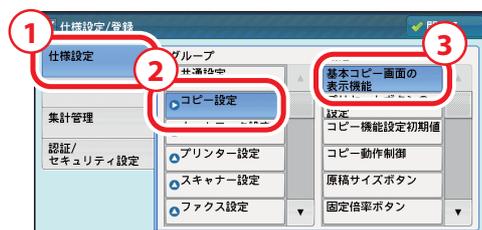
2 機械管理者IDを入力し、[確定]を押します。



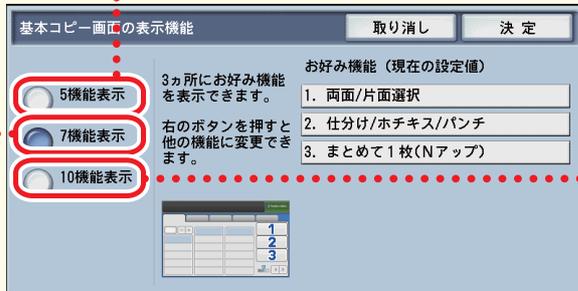
3 [仕様設定/登録]を押します。



4 [仕様設定]→[コピー設定]→[基本コピー画面の表示機能]を押します。

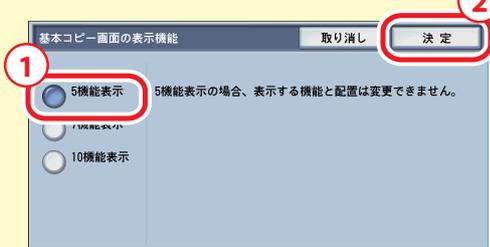


5 メニュー表示の種類を選択します。



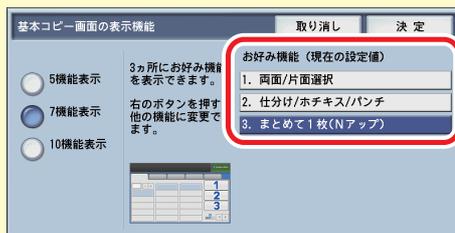
[5機能表示]を選択する場合

- 1 [5機能表示]を選択し、[決定]を押します。



[7機能表示]を選択する場合

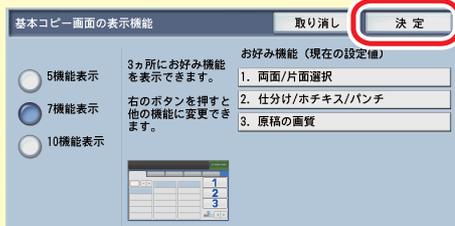
- 1 設定を変更したいメニューを押します。



- 2 表示するメニューを選択し、[閉じる]を押します。

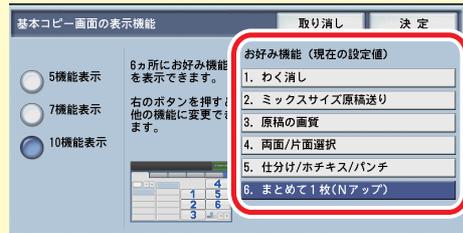


- 3 [決定]を押します。



[10機能表示]を選択する場合

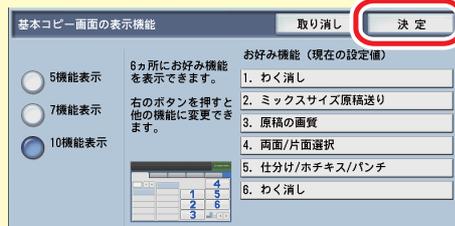
- 1 設定を変更したいメニューを押します。



- 2 表示するメニューを選択し、[閉じる]を押します。



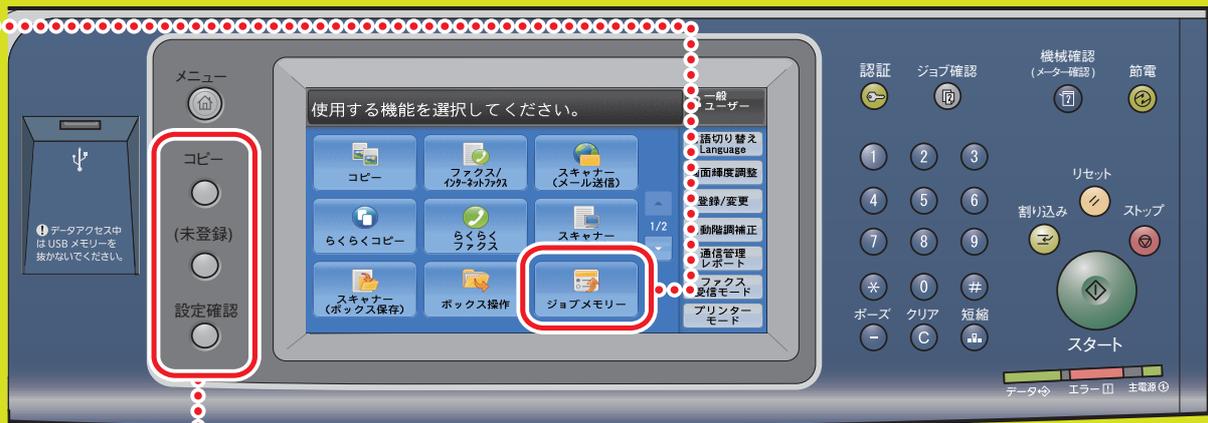
- 3 [決定]を押します。



もっと便利に！複合機活用法

ジョブメモリーと〈登録〉ボタンで操作をもっと効率化！

操作のたびにメニュー画面をいくつも切り替えたり、ほかの機能のためにメニュー画面に戻るのは手間ですよね。ここでは、そんな手間を省く使い方を紹介します。



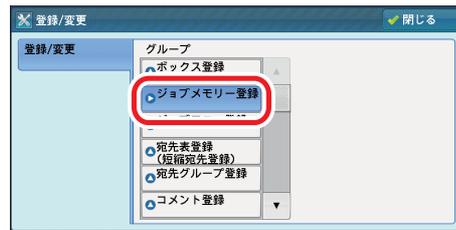
■一連の操作をジョブメモリーに登録する

操作パネルでの一連の操作をジョブとして登録し、メニュー画面の [ジョブメモリー] から呼び出せます。

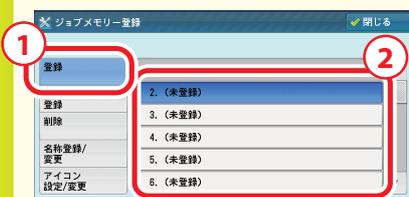
1 [登録/変更]を押します。



2 [ジョブメモリー登録]を押します。



3 [登録]を押して、[(未設定)]の番号を押します。



4 登録する機能を設定します。



5 〈スタート〉ボタンを押します。



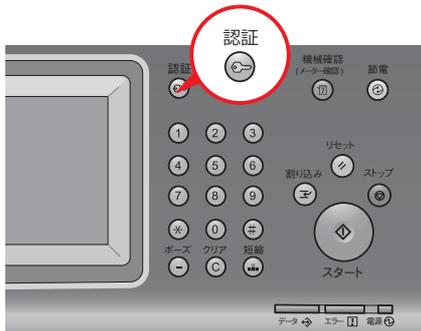
▶ ■メニューを〈登録〉ボタンに割り当てる

よく使うメニューを〈登録〉ボタンに割り当てると、登録したメニュー画面をワンタッチで呼び出せます。
(工場出荷時は、1番目のボタンに「コピー」、3番目のボタンに「設定確認」が登録されています。2番目のボタンは未登録です。)

ポイント

登録内容を変更したときは、本体同梱の「操作パネル 機能名称貼り替えラベル」を貼ってください。
ラベルにない機能を登録した場合は、未記入のラベルに油性ペンで機能を記入してご利用ください。
なお、ラベルには、本機が搭載していない機能やオプションで提供される機能も含まれています。

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 管理者のUser IDを入力し、
[確定]を押します。



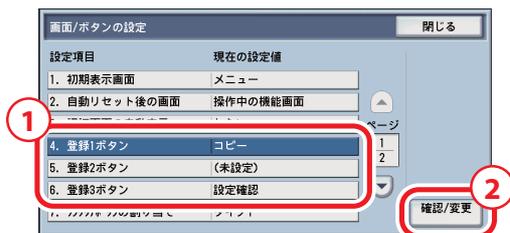
3 [仕様設定/登録]を押します。



4 [仕様設定]→[共通設定]→
[画面/ボタンの設定]を押します。



5 メニューを割り当てるボタンを
選択し、[確認/変更]を押します。



6 割り当てるメニューを選択し、
[決定]を押します。



手順 5 ~ 6 を繰り返すことで、3つの〈登録〉ボタンにメニューを割り当てられます。

DocuCentre-IV
設定がわかる本

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2009年11月 第2版

(帳票 No:DE4305J1-1)
Printed in China

困った! が 解決しないときは

保守・操作・修理(内容・期間・費用など)のお問い合わせは、
 テレフォンセンターまたは販売店へ。
 消耗品(トナー、ドラムなど)のご注文は、商品センターまたは販売店へ。
 電話番号は、機械本体に貼付のカードやシールに書かれています。

受付時間

土曜、日曜、祝日を除く **9時 ~ 17時30分** (一部の地域では異なります)

電話番号

機械本体に **貼付のカード** をご確認ください。

カードの例 ①

保守・操作の問い合わせ
(テレフォンセンター)
TEL.

FAX.

用紙・消耗品のご用命 (商品センター)
TEL.

お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種

機種 No.

メーター連絡票に記載されている
機種コード

FUJI XEROX

保守・操作の問い合わせ (テレフォンセンター)
TEL.

FAX.

用紙・消耗品のご用命 (商品センター)
TEL.

お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種 機種 No.

メーター連絡票に記載されている機種コード

S-3064

カードの例 ②

FUJI XEROX

保守・操作のお問合せ
消耗品のご用命は
裏面の電話番号へご連絡ください

- カードは、名刺くらいの大きさです。
- 色やイメージが、イラストと異なる場合もあります。
- 問い合わせ先がわからない場合は、お客様相談センターで電話番号を確認してください。

ここに書いてあります

電話番号

トナーなど
消耗品
のご注文は

操作、保守(内容、期間、費用など)のお問い合わせは ▶ テレフォンセンターまたは販売店へ

TEL.

ドキュセンター
機種 DocuCentre-IV

機種 No.

お問い合わせ時に、機種と機種 No. をおうかがいします。メモとしてご利用ください。

- 本機を廃棄する場合は、弊社の営業担当者にご連絡ください。

ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター ☎ 0120-27-4100

● フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります

商品全般に関する情報

ホームページアドレス [URL http://www.fujixerox.co.jp/](http://www.fujixerox.co.jp/) ● 商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。

◎ この取扱説明書は、再生紙を使用しリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は回収、リサイクルに出しましょう。

富士ゼロックス株式会社

